

ごみの出し方や
分別に関する市民意識調査
報告書

平成30年3月

久喜市

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査内容	3
4. 調査の信頼度について	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
第 2 章 調査結果の詳細	5
1. あなたご自身のことについて	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住地区	8
(4) 職業	8
(5) 居住形態	9
(6) 世帯構成	9
(7) 居住年数	10
2. ごみ減量やリサイクルの意識について	11
(1) ごみの減量やリサイクルへの関心度	11
(2) ごみの減量やリサイクルを進めるうえで重要なこと	12
3. ごみの出し方や分別の負担感について	14
(1) 現在のごみの出し方や分別での負担感	14
(2) ごみの出し方や分別を負担に感じている理由	15
(3) 出し方や分別を負担に感じているごみ	17
(4) 出し方や分別で負担と感じていること	19
4. ごみの出し方や分別の取組状況について	22
(1) 資源ごみの出し方	22
(2) びん・缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装の分別	29
(3) 生ごみを燃やせるごみの分別	31
(4) 見えそうな不用品の出し方	32
5. その他（自由意見）	36
(1) 自由意見	36
第 3 章 参考資料（調査票）	47

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、市民のごみの出し方や分別等に関する考えなどを把握することにより、現在、久喜市が進めている新たにごみ処理施設の整備のための基礎資料を得ることを目的とし、アンケートを実施した。

2. 調査方法と回収状況

調査対象：久喜市の住民基本台帳に記録された18歳以上の者（平成29年12月1日現在）

抽出方法：単純無作為抽出

調査方法：郵送配付、郵送回収

対象者数：4,000人

実施期間：平成30年2月9日（金）～2月23日（金）

<回収状況>

発送数	回収数	回収率
4,000件	2,361件	59.0%

3. 調査内容

1. あなた自身のことについて
2. ごみ減量やリサイクルの意識について
3. ごみの出し方や分別の負担感について
4. ごみの出し方や分別の取組状況について
5. その他（自由意見）

4. 調査の信頼度について

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標準誤差の<算出式>を次に示す。

<標本誤差算出式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 比率算出の基数（回答サンプル数）
p = 回答の比率（ $0 \leq p \leq 1$ ）

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（n）及び②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。今回の調査では、全体（n = 2,361）の誤差幅は±2.1%以内となり、同様に計算したものが次頁の<早見表>である。

第1章 調査の概要

< 標本誤差早見表 (主なもの) >

区 分	基数(n)	回答の比率 (p)					
		90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度	
全 体	2,361	± 1.2	± 1.6	± 1.9	± 2.0	± 2.1	
年 齢 別	19歳以下	23	±12.5	±16.7	±19.1	±20.4	±20.9
	20～29歳	143	± 5.0	± 6.7	± 7.7	± 8.2	± 8.4
	30～39歳	239	± 3.9	± 5.2	± 5.9	± 6.3	± 6.5
	40～49歳	342	± 3.2	± 4.3	± 5.0	± 5.3	± 5.4
	50～59歳	406	± 3.0	± 4.0	± 4.5	± 4.9	± 5.0
	60～69歳	636	± 2.4	± 3.2	± 3.6	± 3.9	± 4.0
	70～79歳	533	± 2.6	± 3.5	± 4.0	± 4.2	± 4.3
	80歳以上	12	±17.3	±23.1	±26.5	±28.3	±28.9
地 区 別	久喜地区	1,212	± 1.7	± 2.3	± 2.6	± 2.8	± 2.9
	菖蒲地区	576	± 2.5	± 3.3	± 3.8	± 4.1	± 4.2
	栗橋地区	285	± 3.6	± 4.7	± 5.4	± 5.8	± 5.9
	鷲宮地区	258	± 3.7	± 5.0	± 5.7	± 6.1	± 6.2

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第2章 調査結果の詳細

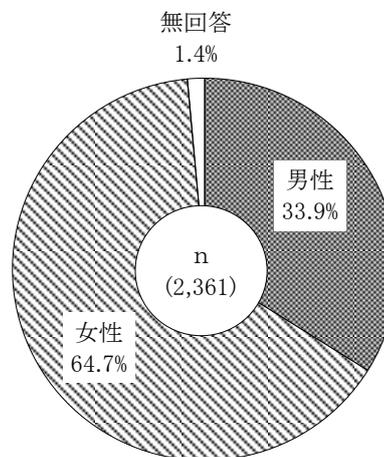
1. あなたご自身のことについて

(1) 性別

F 1 性別を教えてください。(1つに○)

男性が33.9%、女性が64.7%となっている。

	基数	構成比
男性	800	33.9%
女性	1,527	64.7%
無回答	34	1.4%
全体	2,361	100.0%

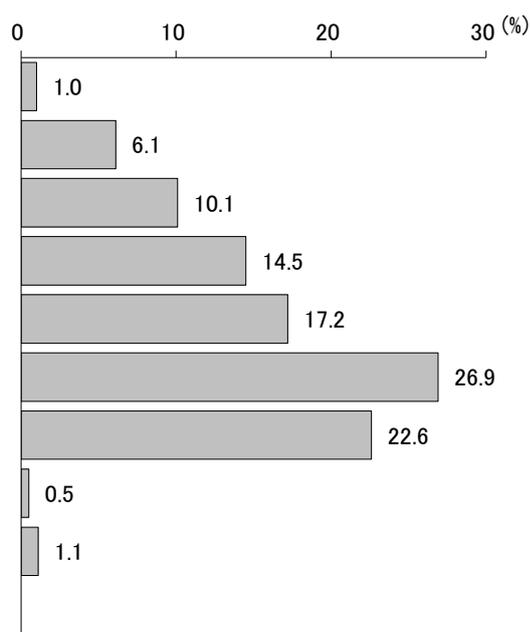


(2) 年齢

F 2 年齢を教えてください。(1つに○)

「60～69歳」26.9%が最も高く、次いで「70～79歳」22.6%、「50～59歳」17.2%、「40～49歳」14.5%、「30～39歳」10.1%となっている。

	基数	構成比
19歳以下	23	1.0%
20～29歳	143	6.1%
30～39歳	239	10.1%
40～49歳	342	14.5%
50～59歳	406	17.2%
60～69歳	636	26.9%
70～79歳	533	22.6%
80歳以上	12	0.5%
無回答	27	1.1%
全体	2,361	100.0%

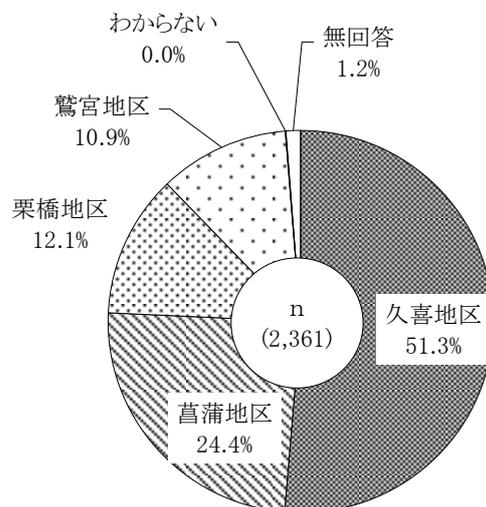


(3) 居住地区

F3 お住まいはどちらですか。(1つに○)

「久喜地区」51.3%が最も高く、次いで「菖蒲地区」24.4%、「栗橋地区」12.1%、「鷺宮地区」10.9%となっている。

	基数	構成比
久喜地区	1,212	51.3%
菖蒲地区	576	24.4%
栗橋地区	285	12.1%
鷺宮地区	258	10.9%
わからない	1	-
無回答	29	1.2%
全体	2,361	100.0%

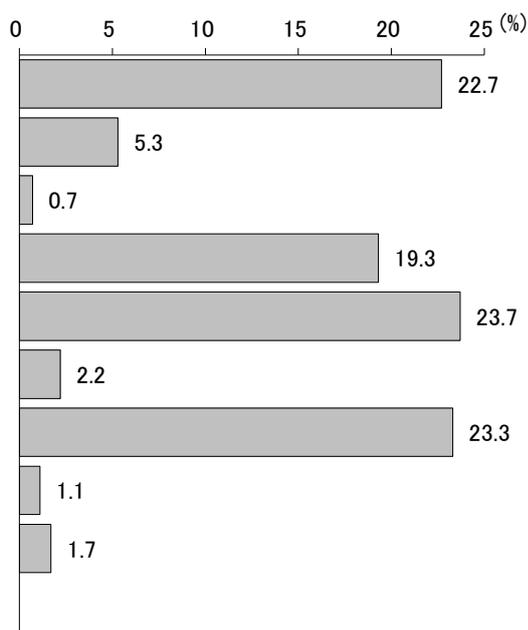


(4) 職業

F4 職業は次のどれですか。(1つに○)

「専業主婦・主夫」23.7%が最も高く、次いで「無職(年金生活者を含む)」23.3%、「会社員・公務員」22.7%、「パート・アルバイト・派遣等」19.3%となっている。

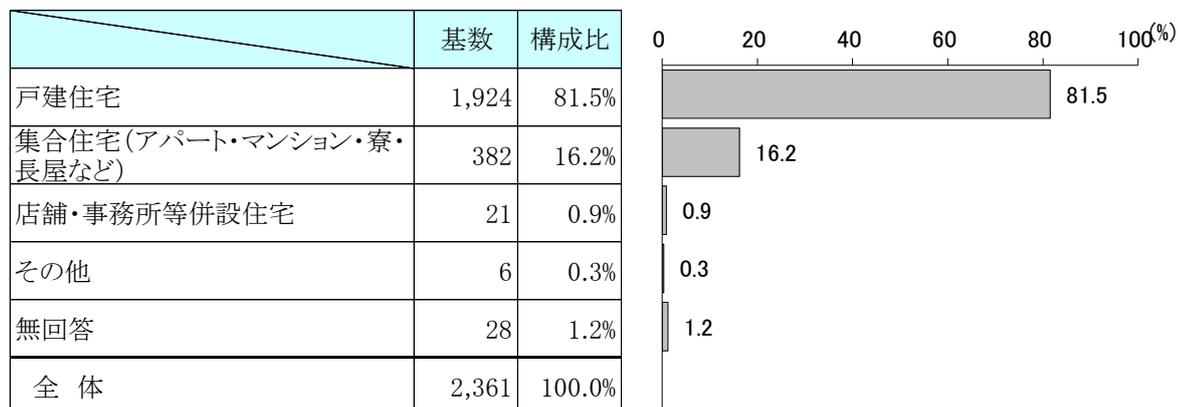
	基数	構成比
会社員・公務員	535	22.7%
自営業・自由業	126	5.3%
会社経営者	17	0.7%
パート・アルバイト・派遣等	455	19.3%
専業主婦・主夫	560	23.7%
学生	52	2.2%
無職(年金生活者を含む)	549	23.3%
その他	27	1.1%
無回答	40	1.7%
全体	2,361	100.0%



(5) 居住形態

F5 お住まいは次のどれですか。(1つに○)

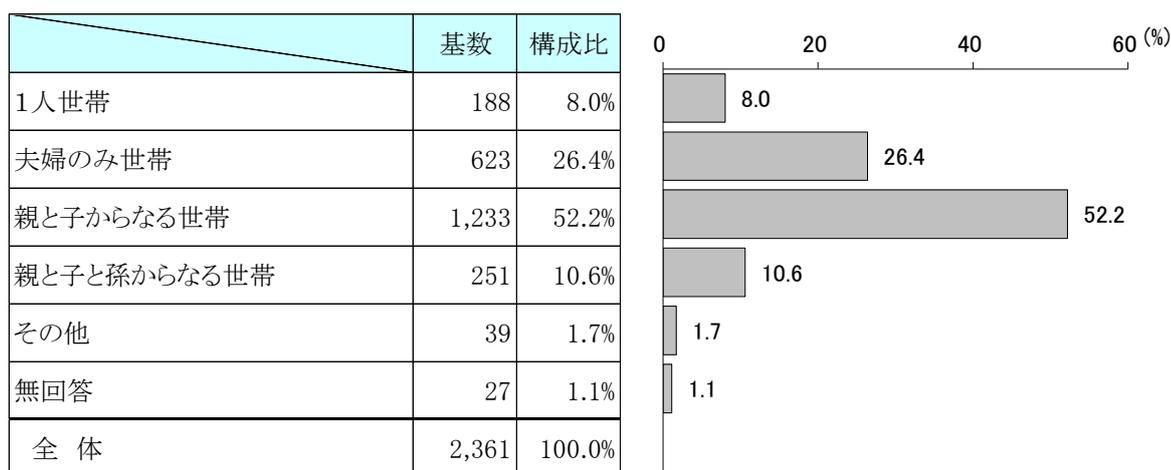
「戸建住宅」81.5%が最も高く、次いで「集合住宅（アパート・マンション・寮・長屋など）」16.2%となっている。



(6) 世帯構成

F6 世帯構成は次のどれですか。(1つに○)

「親と子からなる世帯」52.2%が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」26.4%、「親と子と孫からなる世帯」10.6%、「1人世帯」8.0%となっている。

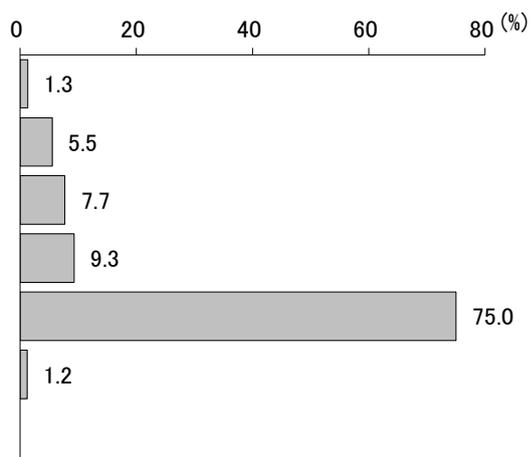


(7) 居住年数

F7 久喜市にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

「15年以上」75.0%が最も高く、次いで「10年以上15年未満」9.3%、「5年以上10年未満」7.7%、「1年以上5年未満」5.5%となっている。

	基数	構成比
1年未満	30	1.3%
1年以上5年未満	131	5.5%
5年以上10年未満	181	7.7%
10年以上15年未満	220	9.3%
15年以上	1,770	75.0%
無回答	29	1.2%
全体	2,361	100.0%



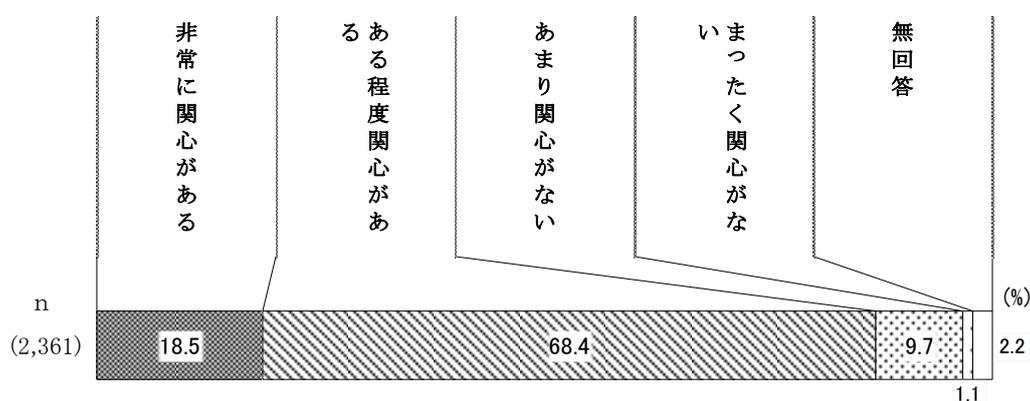
2. ごみ減量やリサイクルの意識について

(1) ごみの減量やリサイクルへの関心度

問1 ごみの減量やリサイクルに関心がありますか。(1つに○)

「ある程度関心がある」68.4%が最も高く、次いで「非常に関心がある」18.5%、「あまり関心がない」9.7%、「まったく関心がない」1.1%となっている。

『関心がある（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）』との回答は86.9%、『関心がない（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）』との回答は10.8%である。



年齢別で見ると、『関心がある』は20～29歳で最も低く、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、60～69歳で94.2%となっている。一方で、『関心がない』は20～29歳で37.1%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	非常に 関心 が	ある 程度 関 心	あ ま り 関 心 が	ま た く 関 心	無 回 答
全 体	2,361 100.0	437 18.5	1,616 68.4	229 9.7	26 1.1	53 2.2
19歳以下	23 100.0	3 13.0	14 60.9	5 21.7	1 4.3	-
20～29歳	143 100.0	11 7.7	79 55.2	43 30.1	10 7.0	-
30～39歳	239 100.0	31 13.0	158 66.1	45 18.8	4 1.7	1 0.4
40～49歳	342 100.0	42 12.3	245 71.6	48 14.0	4 1.2	3 0.9
50～59歳	406 100.0	58 14.3	301 74.1	42 10.3	2 0.5	3 0.7
60～69歳	636 100.0	131 20.6	468 73.6	23 3.6	4 0.6	10 1.6
70～79歳	533 100.0	157 29.5	341 64.0	23 4.3	1 0.2	11 2.1
80歳以上	12 100.0	4 33.3	7 58.3	-	-	1 8.3
無回答	27 100.0	-	3 11.1	-	-	24 88.9

第2章 調査結果の詳細

地区別でみると、『関心がある』はいずれの地区でも80%を超えており、久喜地区で88.8%、菖蒲地区で88.1%となっている。

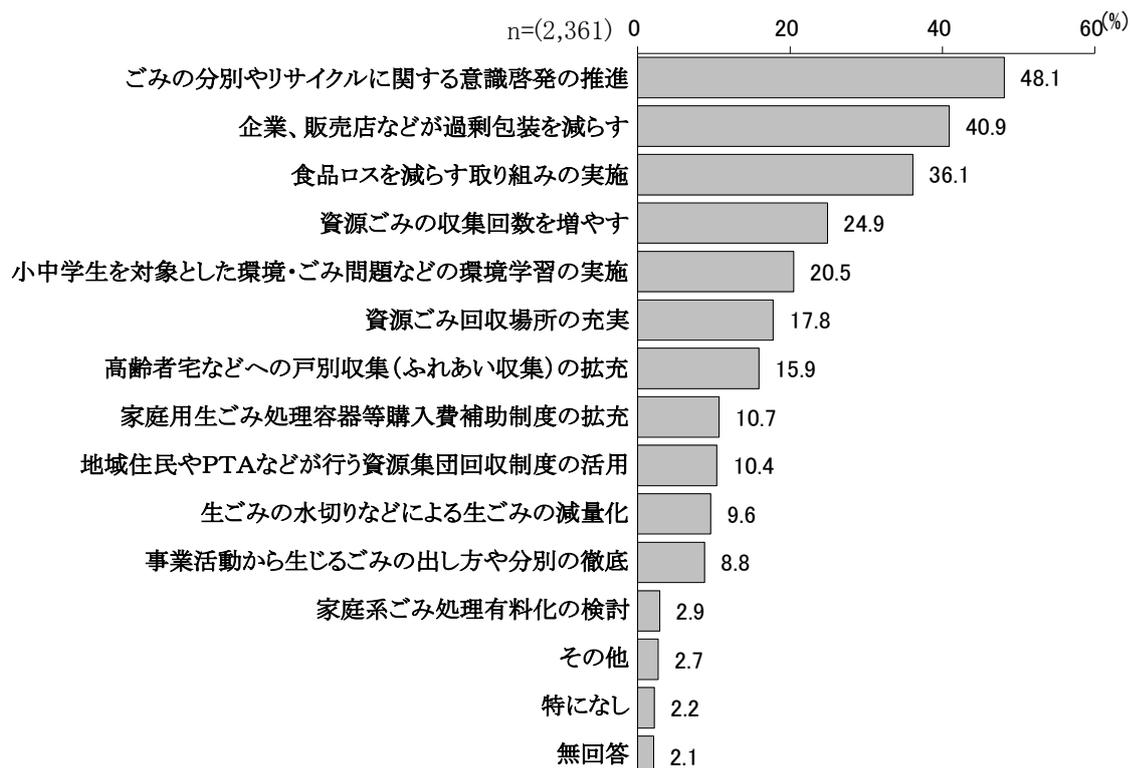
(上段：件数、下段：%)

	調査数	非常に 関心が	ある 程度 関心	な あ い ま り 関 心 が	が ま つ た く 関 心	無 回 答
全 体	2,361 100.0	437 18.5	1,616 68.4	229 9.7	26 1.1	53 2.2
久喜地区	1,212 100.0	227 18.7	850 70.1	115 9.5	7 0.6	13 1.1
菖蒲地区	576 100.0	108 18.8	399 69.3	51 8.9	10 1.7	8 1.4
栗橋地区	285 100.0	58 20.4	190 66.7	28 9.8	5 1.8	4 1.4
鷲宮地区	258 100.0	43 16.7	174 67.4	33 12.8	4 1.6	4 1.6
わからない	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
無回答	29 100.0	1 3.4	2 6.9	2 6.9	-	24 82.8

(2) ごみの減量やリサイクルを進めるうえで重要なこと

問2 ごみの減量やリサイクルを進めるうえで特に重要だと思うことはなんですか。
(○は3つまで)

「ごみの分別やリサイクルに関する意識啓発の推進」48.1%が最も高く、次いで「企業、販売店などが過剰包装を減らす」40.9%、「食品ロスを減らす取り組みの実施」36.1%、「資源ごみの収集回数を増やす」24.9%、「小中学生を対象とした環境・ごみ問題などの環境学習の実施」20.5%などとなっている。また、「その他」の主な記述内容は『処理場への持ち込み方法等のPRの充実と料金の明記』『だれもがわかりやすい分別。『面倒』と思われない分別』『回収場所の美化』となっている。



年齢別でみると、「ごみの分別やりサイクルに関する意識啓発の推進」は60～69歳で53.5%、50～59歳で51.7%と高くなっている。「企業、販売店などが過剰包装を減らす」は30～39歳で46.9%と最も高くなっている。「食品ロスを減らす取り組みの実施」は30～39歳で39.7%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	推進に関する意識啓発のク	企業、販売店などが過剰包装を減らす	食品ロスを減らす取り組みの実施	資源ごみの回収数を増やす	環境学習の実施	小中学生を対象とした	実資源ごみ回収場の充	の高齢者などへの戸別	の高齢者などへの戸別	等購入費補助制度の拡	家庭用生ごみ処理容器	が行う資源回収制	地域住民やPTAなど	よる生ごみの水切りなどに	底み出し方や分別の徹	事業活動から生じるご	の家庭系ごみ処理有料化	その他	特になし	無回答
全体	2,361	1,136	966	853	588	483	421	375	252	245	227	208	69	64	53	50					
	100.0	48.1	40.9	36.1	24.9	20.5	17.8	15.9	10.7	10.4	9.6	8.8	2.9	2.7	2.2	2.1					
19歳以下	23	13	11	7	8	4	5	2	4	3	-	5	-	-	-	-					
	100.0	56.5	47.8	30.4	34.8	17.4	21.7	8.7	17.4	13.0	-	21.7	-	-	-	-					
20～29歳	143	51	57	54	46	25	29	17	23	13	14	14	1	3	6	-					
	100.0	35.7	39.9	37.8	32.2	17.5	20.3	11.9	16.1	9.1	9.8	9.8	0.7	2.1	4.2	-					
30～39歳	239	103	112	95	81	66	53	22	29	15	8	22	5	13	2	1					
	100.0	43.1	46.9	39.7	33.9	27.6	22.2	9.2	12.1	6.3	3.3	9.2	2.1	5.4	0.8	0.4					
40～49歳	342	165	134	118	111	78	57	40	32	32	18	25	10	14	8	2					
	100.0	48.2	39.2	34.5	32.5	22.8	16.7	11.7	9.4	9.4	5.3	7.3	2.9	4.1	2.3	0.6					
50～59歳	406	210	167	153	116	94	66	76	33	42	19	34	15	14	7	1					
	100.0	51.7	41.1	37.7	28.6	23.2	16.3	18.7	8.1	10.3	4.7	8.4	3.7	3.4	1.7	0.2					
60～69歳	636	340	283	239	136	118	121	102	60	70	71	60	17	13	10	12					
	100.0	53.5	44.5	37.6	21.4	18.6	19.0	16.0	9.4	11.0	11.2	9.4	2.7	2.0	1.6	1.9					
70～79歳	533	248	195	179	89	95	89	115	68	70	93	45	21	7	19	10					
	100.0	46.5	36.6	33.6	16.7	17.8	16.7	21.6	12.8	13.1	17.4	8.4	3.9	1.3	3.6	1.9					
80歳以上	12	5	4	6	-	2	-	1	3	-	4	3	-	-	1	-					
	100.0	41.7	33.3	50.0	-	16.7	-	8.3	25.0	-	33.3	25.0	-	-	8.3	-					
無回答	27	1	3	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	24					
	100.0	3.7	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	88.9					

地区別でみると、「ごみの分別やりサイクルに関する意識啓発の推進」は鷺宮地区で50.8%と最も高く、次いで栗橋地区で49.8%、久喜地区で49.0%となっている。「企業、販売店などが過剰包装を減らす」は久喜地区で44.0%と最も高くなっている。「食品ロスを減らす取り組みの実施」は久喜地区で38.0%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	推進に関する意識啓発のク	企業、販売店などが過剰包装を減らす	食品ロスを減らす取り組みの実施	資源ごみの回収数を増やす	環境学習の実施	小中学生を対象とした	実資源ごみ回収場の充	の高齢者などへの戸別	の高齢者などへの戸別	等購入費補助制度の拡	家庭用生ごみ処理容器	が行う資源回収制	地域住民やPTAなど	よる生ごみの水切りなどに	底み出し方や分別の徹	事業活動から生じるご	の家庭系ごみ処理有料化	その他	特になし	無回答
全体	2,361	1,136	966	853	588	483	421	375	252	245	227	208	69	64	53	50					
	100.0	48.1	40.9	36.1	24.9	20.5	17.8	15.9	10.7	10.4	9.6	8.8	2.9	2.7	2.2	2.1					
久喜地区	1,212	594	533	460	306	242	195	203	124	106	104	118	35	35	22	11					
	100.0	49.0	44.0	38.0	25.2	20.0	16.1	16.7	10.2	8.7	8.6	9.7	2.9	2.9	1.8	0.9					
菖蒲地区	576	266	225	196	147	127	115	88	73	68	64	48	19	12	15	10					
	100.0	46.2	39.1	34.0	25.5	22.0	20.0	15.3	12.7	11.8	11.1	8.3	3.3	2.1	2.6	1.7					
栗橋地区	285	142	105	102	73	67	62	49	31	28	38	26	7	7	7	2					
	100.0	49.8	36.8	35.8	25.6	23.5	21.8	17.2	10.9	9.8	13.3	9.1	2.5	2.5	2.5	0.7					
鷺宮地区	258	131	102	92	60	46	46	34	23	43	20	16	7	10	9	3					
	100.0	50.8	39.5	35.7	23.3	17.8	17.8	13.2	8.9	16.7	7.8	6.2	2.7	3.9	3.5	1.2					
わからない	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	100.0	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無回答	29	3	1	2	1	1	2	1	1	-	1	-	1	-	-	24					
	100.0	10.3	3.4	6.9	3.4	3.4	6.9	3.4	3.4	-	3.4	-	3.4	-	-	82.8					

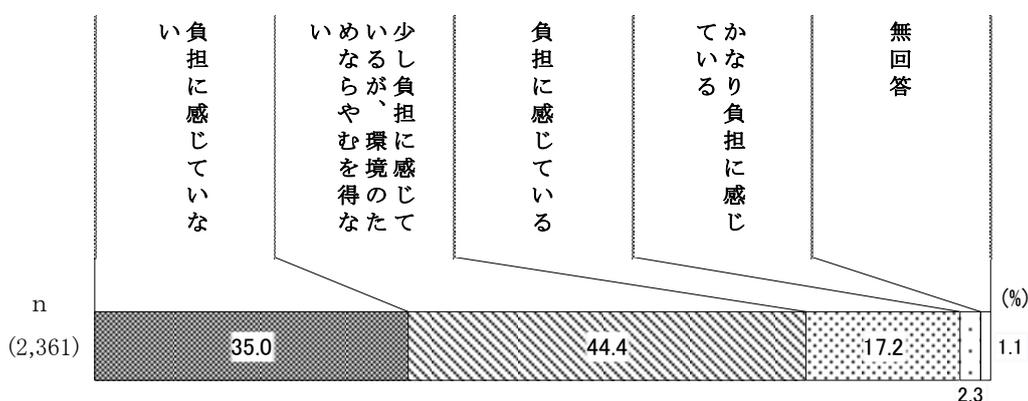
3. ごみの出し方や分別の負担感について

(1) 現在のごみの出し方や分別での負担感

問3 現在のごみの出し方や分別を負担に感じていますか。(1つに○)

「少し負担に感じているが、環境のためならやむを得ない」44.4%が最も高く、次いで「負担に感じていない」35.0%、「負担に感じている」17.2%となっている。

『負担に感じていない(「負担に感じていない」+「少し負担に感じているが、環境のためならやむを得ない)』との回答は79.4%、『負担に感じている(「負担に感じている」+「かなり負担に感じている)』との回答は19.5%である。



年齢別でみると、『負担に感じていない』は20～29歳で最も低く、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70～79歳で87.6%となっている。一方で、『負担に感じている』は20～29歳で35.7%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	負担に感じていない	少し負担に感じているが、環境のためならやむを得ない	負担に感じている	かなり負担に感じている	無回答
全体	2,361	826	1,049	407	54	25
	100.0	35.0	44.4	17.2	2.3	1.1
19歳以下	23	9	8	4	2	-
	100.0	39.1	34.8	17.4	8.7	-
20～29歳	143	32	58	42	9	2
	100.0	22.4	40.6	29.4	6.3	1.4
30～39歳	239	61	110	61	7	-
	100.0	25.5	46.0	25.5	2.9	-
40～49歳	342	100	151	73	13	5
	100.0	29.2	44.2	21.3	3.8	1.5
50～59歳	406	119	196	78	12	1
	100.0	29.3	48.3	19.2	3.0	0.2
60～69歳	636	274	261	88	7	6
	100.0	43.1	41.0	13.8	1.1	0.9
70～79歳	533	223	244	53	3	10
	100.0	41.8	45.8	9.9	0.6	1.9
80歳以上	12	4	8	-	-	-
	100.0	33.3	66.7	-	-	-
無回答	27	4	13	8	1	1
	100.0	14.8	48.1	29.6	3.7	3.7

年齢別でみると、『負担に感じていない』はいずれの地区でも70%を超えており、菖蒲地区で83.6%と最も高くなっている。一方で、『負担に感じている』は久喜地区で21.6%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	負担に感じていない	少しやむを得ない程度に感じている	負担に感じている	かなり負担に感じている	無回答
全体	2,361	826	1,049	407	54	25
	100.0	35.0	44.4	17.2	2.3	1.1
久喜地区	1,212	426	516	228	34	8
	100.0	35.1	42.6	18.8	2.8	0.7
菖蒲地区	576	211	271	75	10	9
	100.0	36.6	47.0	13.0	1.7	1.6
栗橋地区	285	98	129	47	7	4
	100.0	34.4	45.3	16.5	2.5	1.4
鷺宮地区	258	86	120	47	2	3
	100.0	33.3	46.5	18.2	0.8	1.2
わからない	1	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-
無回答	29	5	13	9	1	1
	100.0	17.2	44.8	31.0	3.4	3.4

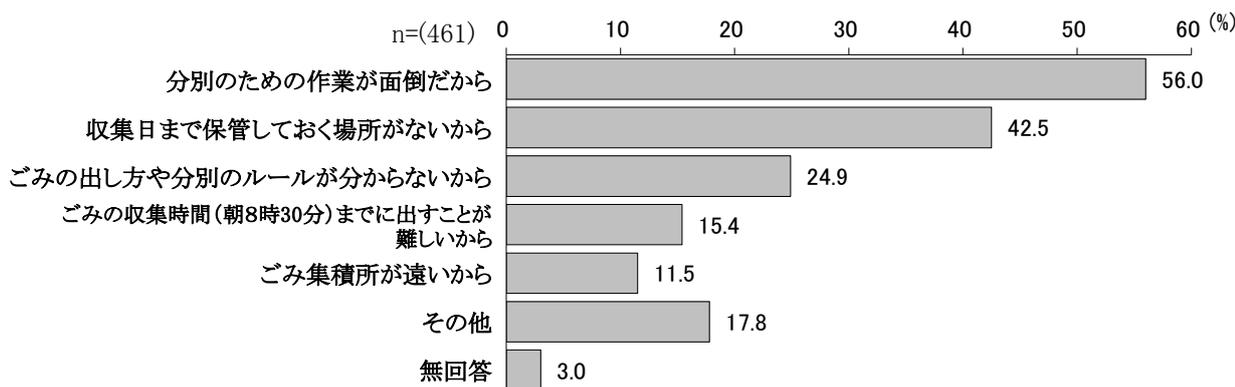
(2) ごみの出し方や分別を負担に感じている理由

《問3で「3. 負担に感じている」又は「4. かなり負担に感じている」とお答えの方に伺います。》

問3-1 ごみの出し方や分別を負担に感じている理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「分別のための作業が面倒だから」56.0%が最も高く、次いで「収集日まで保管しておく場所がないから」42.5%、「ごみの出し方や分別のルールが分からないから」24.9%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『分別に、わかりにくく迷う品がある』『大きさに関しての制限がある。例、木30cm以下等』『洗って出さなくちゃいけない物がたくさんあって、水道代がかさむ』『ゴミ袋が有料なので、なるべく小さくまとめる必要があるから』『スプレー缶の扱いが怖い』などとなっている。



第2章 調査結果の詳細

年齢別でみると、「分別のための作業が面倒だから」は20～29歳で74.5%と最も高くなっている。「収集日まで保管しておく場所がないから」は30～39歳で57.4%と最も高く、次いで40～49歳で54.7%、20～29歳で52.9%となっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	分別のための作業が面倒だから	収集日まで保管しておく場所がないから	ゴミの出し方や分別の	ゴミの出し方から分別の	30分以内に出す	ゴミ集積所が遠いから	その他	無回答
全体	461 100.0	258 56.0	196 42.5	115 24.9	71 15.4	53 11.5	82 17.8	14 3.0	
19歳以下	6 100.0	3 50.0	- -	3 50.0	1 16.7	- -	1 16.7	- -	
20～29歳	51 100.0	38 74.5	27 52.9	11 21.6	6 11.8	4 7.8	5 9.8	1 2.0	
30～39歳	68 100.0	38 55.9	39 57.4	19 27.9	16 23.5	6 8.8	9 13.2	1 1.5	
40～49歳	86 100.0	49 57.0	47 54.7	22 25.6	14 16.3	11 12.8	17 19.8	1 1.2	
50～59歳	90 100.0	52 57.8	37 41.1	24 26.7	11 12.2	13 14.4	20 22.2	2 2.2	
60～69歳	95 100.0	51 53.7	32 33.7	19 20.0	16 16.8	15 15.8	18 18.9	1 1.1	
70～79歳	56 100.0	21 37.5	12 21.4	13 23.2	4 7.1	4 7.1	11 19.6	8 14.3	
80歳以上	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
無回答	9 100.0	6 66.7	2 22.2	4 44.4	3 33.3	- -	1 11.1	- -	

地区別でみると、「分別のための作業が面倒だから」は鷺宮地区で67.3%と最も高く、次いで久喜地区で56.9%、菖蒲地区で56.5%となっている。「収集日まで保管しておく場所がないから」は久喜地区で46.2%と最も高く、次いで鷺宮地区で42.9%となっている。

(上段：件数、下段：%)

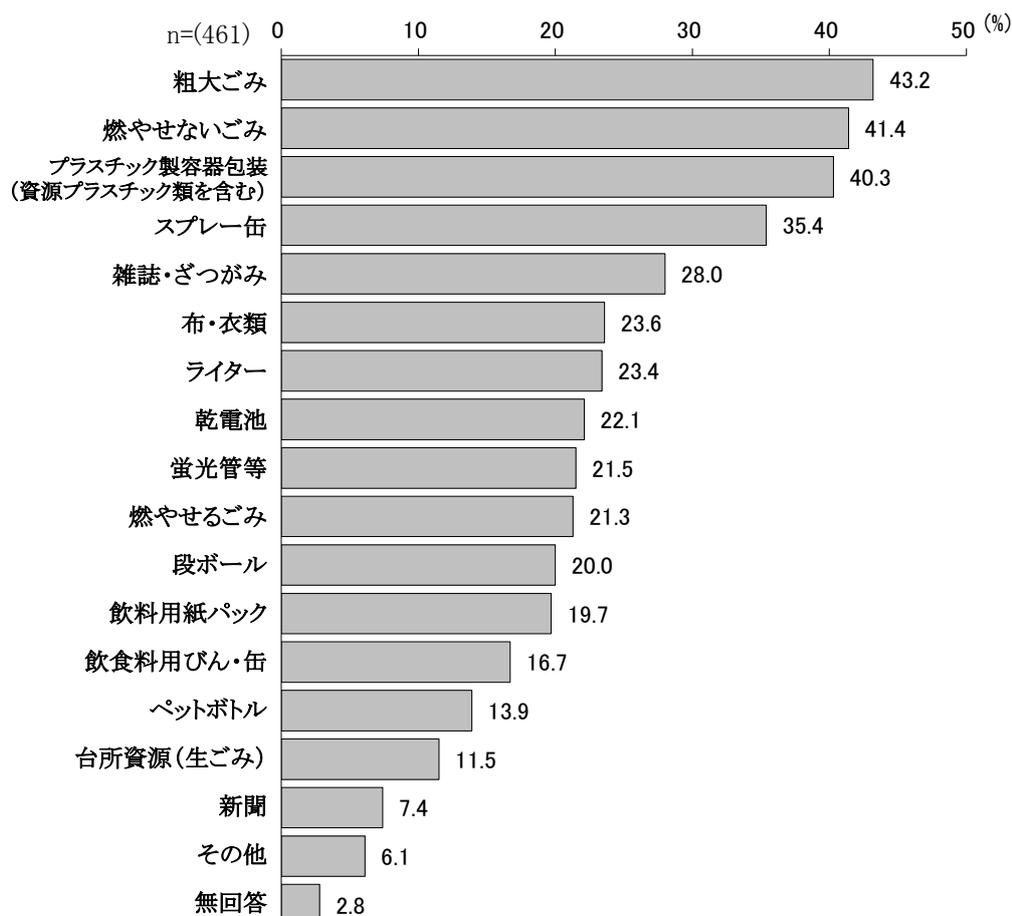
	調査数	分別のための作業が面倒だから	収集日まで保管しておく場所がないから	ゴミの出し方や分別の	ゴミの出し方から分別の	30分以内に出す	ゴミ集積所が遠いから	その他	無回答
全体	461 100.0	258 56.0	196 42.5	115 24.9	71 15.4	53 11.5	82 17.8	14 3.0	
久喜地区	262 100.0	149 56.9	121 46.2	59 22.5	42 16.0	31 11.8	46 17.6	9 3.4	
菖蒲地区	85 100.0	48 56.5	32 37.6	25 29.4	16 18.8	11 12.9	10 11.8	2 2.4	
栗橋地区	54 100.0	21 38.9	19 35.2	14 25.9	5 9.3	6 11.1	15 27.8	3 5.6	
鷺宮地区	49 100.0	33 67.3	21 42.9	12 24.5	4 8.2	5 10.2	9 18.4	- -	
わからない	1 100.0	- -	- -	- -	- 100.0	1 -	- -	- -	
無回答	10 100.0	7 70.0	3 30.0	5 50.0	3 30.0	- -	2 20.0	- -	

(3) 出し方や分別を負担に感じているごみ

問3-2 出し方や分別を負担に感じているごみはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「粗大ごみ」43.2%が最も高く、次いで「燃やせないごみ」41.4%、「プラスチック製容器包装（資源プラスチック類を含む）」40.3%、「スプレー缶」35.4%、「雑誌・ざつがみ」28.0%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『オムツ』『ボタン電池、小型充電式電池』『中に綿が入った物』『ほうき、ホースを巻き収納する物（プラ+金属）』などとなっている。



第2章 調査結果の詳細

年齢別でみると、「粗大ごみ」は50～59歳で53.3%と最も高く、次いで70～79歳で50.0%となっている。「燃やせないごみ」は20～29歳で47.1%と最も高く、次いで40～49歳で44.2%、30～39歳で44.1%となっている。「プラスチック製容器包装（資源プラスチック類を含む）」は40～49歳で52.3%と最も高く、次いで30～39歳で50.0%となっている。「スプレー缶」は70～79歳で46.4%と最も高くなっている。「雑誌・ざつがみ」は40～49歳で40.7%と最も高くなっている。「ライター」は70～79歳で39.3%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	粗大ごみ	燃やせないごみ	プラスチック製容器包装(資源プラスチック類を含む)	スプレー缶	雑誌・ざつがみ	布・衣類	ライター	乾電池	蛍光管等	燃やせるごみ	段ボール	飲料用紙パック	飲食料用びん・缶	ペットボトル	台所資源(生ごみ)	新聞	その他	無回答
全体	461	199	191	186	163	129	109	108	102	99	98	92	91	77	64	53	34	28	13
	100.0	43.2	41.4	40.3	35.4	28.0	23.6	23.4	22.1	21.5	21.3	20.0	19.7	16.7	13.9	11.5	7.4	6.1	2.8
19歳以下	6	3	1	2	2	2	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-
	100.0	50.0	16.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-
20～29歳	51	16	24	25	11	11	13	8	9	4	14	11	5	11	5	8	4	1	2
	100.0	31.4	47.1	49.0	21.6	21.6	25.5	15.7	17.6	7.8	27.5	21.6	9.8	21.6	9.8	15.7	7.8	2.0	3.9
30～39歳	68	26	30	34	27	18	15	15	20	17	17	18	17	12	11	5	8	6	2
	100.0	38.2	44.1	50.0	39.7	26.5	22.1	22.1	29.4	25.0	25.0	26.5	25.0	17.6	16.2	7.4	11.8	8.8	2.9
40～49歳	86	34	38	45	27	35	22	14	20	15	23	23	20	16	15	10	8	5	1
	100.0	39.5	44.2	52.3	31.4	40.7	25.6	16.3	23.3	17.4	26.7	26.7	23.3	18.6	17.4	11.6	9.3	5.8	1.2
50～59歳	90	48	36	27	32	29	25	22	17	19	18	18	21	13	11	12	7	9	3
	100.0	53.3	40.0	30.0	35.6	32.2	27.8	24.4	18.9	21.1	20.0	20.0	23.3	14.4	12.2	13.3	7.8	10.0	3.3
60～69歳	95	40	35	34	35	23	19	24	15	22	16	15	16	13	15	9	4	1	4
	100.0	42.1	36.8	35.8	36.8	24.2	20.0	25.3	15.8	23.2	16.8	15.8	16.8	13.7	15.8	9.5	4.2	1.1	4.2
70～79歳	56	28	21	15	26	10	13	22	19	18	9	6	9	11	6	8	3	6	1
	100.0	50.0	37.5	26.8	46.4	17.9	23.2	39.3	33.9	32.1	16.1	10.7	16.1	19.6	10.7	14.3	5.4	10.7	1.8
80歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9	4	6	4	3	1	2	3	2	3	-	1	3	1	-	-	-	-	-
	100.0	44.4	66.7	44.4	33.3	11.1	22.2	33.3	22.2	33.3	-	11.1	33.3	11.1	-	-	-	-	-

地区別でみると、「粗大ごみ」は菖蒲地区で51.8%と最も高くなっている。「燃やせないごみ」は鷺宮地区で42.9%、久喜地区で42.0%と高くなっている。「プラスチック製容器包装（資源プラスチック類を含む）」は菖蒲地区で50.6%と最も高くなっている。「スプレー缶」は栗橋地区で42.6%と最も高くなっている。「布・衣類」は鷺宮地区で36.7%と最も高くなっている。「ライター」は栗橋地区で38.9%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	粗大ごみ	燃やせないごみ	プラスチック製容器包装(資源プラスチック類を含む)	スプレー缶	雑誌・ざつがみ	布・衣類	ライター	乾電池	蛍光管等	燃やせるごみ	段ボール	飲料用紙パック	飲食料用びん・缶	ペットボトル	台所資源(生ごみ)	新聞	その他	無回答
全体	461	199	191	186	163	129	109	108	102	99	98	92	91	77	64	53	34	28	13
	100.0	43.2	41.4	40.3	35.4	28.0	23.6	23.4	22.1	21.5	21.3	20.0	19.7	16.7	13.9	11.5	7.4	6.1	2.8
久喜地区	262	107	110	100	86	86	58	47	49	51	65	58	58	35	40	43	20	19	10
	100.0	40.8	42.0	38.2	32.8	32.8	22.1	17.9	18.7	19.5	24.8	22.1	22.1	13.4	15.3	16.4	7.6	7.3	3.8
菖蒲地区	85	44	33	43	33	15	19	24	20	17	12	15	12	15	11	6	5	3	1
	100.0	51.8	38.8	50.6	38.8	17.6	22.4	28.2	23.5	20.0	14.1	17.6	14.1	17.6	12.9	7.1	5.9	3.5	1.2
栗橋地区	54	21	20	23	23	10	12	21	16	15	11	9	5	11	9	2	5	2	2
	100.0	38.9	37.0	42.6	42.6	18.5	22.2	38.9	29.6	27.8	20.4	16.7	9.3	20.4	16.7	3.7	9.3	3.7	3.7
鷺宮地区	49	22	21	17	18	17	18	13	13	12	9	8	12	15	4	2	4	3	-
	100.0	44.9	42.9	34.7	36.7	34.7	36.7	26.5	26.5	24.5	18.4	16.3	24.5	30.6	8.2	4.1	8.2	6.1	-
わからない	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	10	4	6	3	3	1	2	3	4	4	1	2	4	1	-	-	-	-	1
	100.0	40.0	60.0	30.0	30.0	10.0	20.0	30.0	40.0	40.0	10.0	20.0	40.0	10.0	-	-	-	-	10.0

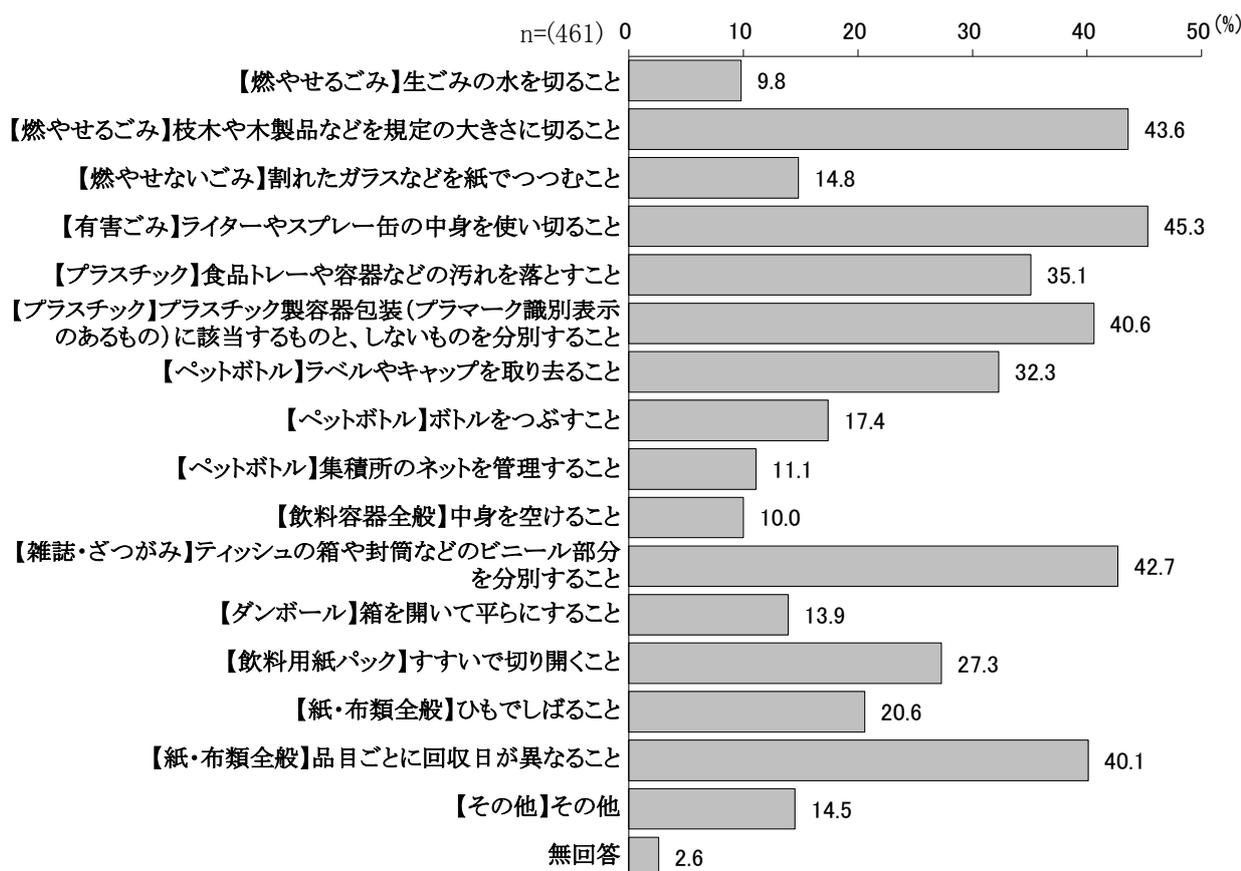
(4) 出し方や分別で負担と感じていること

問3-3 出し方や分別を負担に感じているごみについて、具体的にどのようなことを負担と感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

※一部の選択項目については、実施していない地区があります。

「【有害ごみ】ライターやスプレー缶の中身を使い切ること」45.3%が最も高く、次いで「【燃やせるごみ】枝木や木製品などを規定の大きさに切ること」43.6%、「【雑誌・ざつがみ】ティッシュの箱や封筒などのビニール部分を分別すること」42.7%、「【プラスチック】プラスチック製容器包装(プラマーク識別表示のあるもの)に該当するものと、しないものを分別すること」40.6%、「【紙・布類全般】品目ごとに回収日が異なること」40.1%、「【プラスチック】食品トレーや容器などの汚れを落とすこと」35.1%、「【ペットボトル】ラベルやキャップを取り去ること」32.3%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『布類を切ること。カーペット・古いカーテン・古いタオルケットなどが、捨てられずに家の中にずっとあります』『古い化粧品の瓶など、中身を抜いたり、プラスチックのふたを分別するのは負担』『回収日が少ないこと』『新聞と雑誌を一緒に出せないこと(新聞うけに入れたい)』などとなっている。



第2章 調査結果の詳細

年齢別でみると、「【燃やせるごみ】枝木や木製品などを規定の大きさに切ること」は60～69歳で53.7%、50～59歳で53.3%と高くなっている。「【有害ごみ】ライターやスプレー缶の中身を使い切ること」は50～59歳で56.7%と最も高くなっている。「【プラスチック】プラスチック製容器包装（プラマーク識別表示のあるもの）に該当するものと、しないものを分別すること」は20～29歳で51.0%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

調査数	「燃やせるごみ」生ごみの水を切ること	「燃やせるごみ」枝木や木製品などを規定の大きさに切ること	「燃やせないごみ」割れたガラスなどを紙でつつむこと	「有害ごみ」ライターやスプレー缶の中身を使い切ること	「プラスチック」食品トレーや容器などの汚れを落とすこと	「プラスチック」製容器包装（プラマーク識別表示のあるもの）に該当するものと、しないものを分別すること	「ペットボトル」ラベルやキャップを取り去ること	「ペットボトル」ボトルをつぶすこと	「ペットボトル」集積所のネットを管理すること	「飲料容器全般」中身を空けること	「雑誌・ざつがみ」ティッシュの箱や封筒などのビニール部分を分別すること	「ダンボール」箱を開いて平らにすること	「飲料用紙パック」すすいで切り開くこと	「紙・布類全般」ひもでしばること	「紙・布類全般」品目ごとに回収日が異なること	「その他」その他	無回答	
全体	461 100.0	45 9.8	201 43.6	68 14.8	209 45.3	162 35.1	187 40.6	149 32.3	80 17.4	51 11.1	46 10.0	197 42.7	64 13.9	126 27.3	95 20.6	185 40.1	67 14.5	12 2.6
19歳以下	6 100.0	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	4 66.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	4 66.7	-	-	1 16.7	1 16.7	-	-
20～29歳	51 100.0	7 13.7	18 35.3	7 13.7	17 33.3	19 37.3	26 51.0	15 29.4	11 21.6	4 7.8	3 5.9	20 39.2	7 13.7	8 15.7	11 21.6	17 33.3	10 19.6	1 2.0
30～39歳	68 100.0	6 8.8	15 22.1	6 8.8	27 39.7	25 36.8	30 44.1	17 25.0	12 17.6	9 13.2	4 5.9	28 41.2	8 11.8	23 33.8	19 27.9	25 36.8	14 20.6	2 2.9
40～49歳	86 100.0	7 8.1	38 44.2	9 10.5	30 34.9	27 31.4	40 46.5	30 34.9	15 17.4	9 10.5	10 11.6	41 47.7	14 16.3	22 25.6	20 23.3	35 40.7	13 15.1	2 2.3
50～59歳	90 100.0	7 7.8	48 53.3	17 18.9	51 56.7	27 30.0	26 28.9	27 30.0	19 21.1	8 8.9	13 14.4	43 47.8	13 14.4	26 28.9	19 21.1	41 45.6	16 17.8	3 3.3
60～69歳	95 100.0	13 13.7	51 53.7	14 14.7	49 51.6	39 41.1	40 42.1	32 33.7	15 15.8	12 12.6	9 9.5	38 40.0	15 15.8	28 29.5	14 14.7	39 41.1	7 7.4	4 4.2
70～79歳	56 100.0	3 5.4	27 48.2	13 23.2	30 53.6	22 39.3	17 30.4	23 41.1	7 12.5	8 14.3	6 10.7	20 35.7	6 10.7	18 32.1	7 12.5	24 42.9	4 7.1	-
80歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9 100.0	1 11.1	2 22.2	2 22.2	4 44.4	2 22.2	4 44.4	4 44.4	1 11.1	-	-	3 33.3	1 11.1	1 11.1	4 44.4	3 33.3	3 33.3	-

地区別でみると、「【燃やせるごみ】枝木や木製品などを規定の大きさに切ること」は栗橋地区で50.0%と最も高くなっている。「【有害ごみ】ライターやスプレー缶の中身を使い切ること」は栗橋地区で53.7%と最も高くなっている。「【雑誌・ざつがみ】ティッシュの箱や封筒などのビニール部分を分別すること」は鷺宮地区で46.9%と最も高くなっている。「【紙・布類全般】品目ごとに回収日が異なること」は久喜地区で45.8%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

調査数	【燃やせるごみ】生ごみの水を切ること	【燃やせるごみ】枝木や木製品などを規定の大きさに切ること	【燃やせないごみ】割れたガラスなどを紙でつつむこと	【有害ごみ】ライターやスプレー缶の中身を使い切ること	【プラスチック】食品トレーや容器などの汚れを落とすこと	【プラスチック】製容器包装(プラマーク識別表示のあるもの)に該当するものとしないものを分別すること	【ペットボトル】ラベルやキャップを取り去ること	【ペットボトル】ボトルをつぶすこと	【ペットボトル】集積所のネットを管理すること	【飲料容器全般】中身を空けること	【雑誌・ざつがみ】ティッシュの箱や封筒などのビニール部分を分別すること	【ダンボール】箱を開いて平らにすること	【飲料用紙パック】すすいで切り開くこと	【紙・布類全般】ひもでしばること	【紙・布類全般】品目ごとに回収日が異なること	【その他】その他	無回答	
全体	461 100.0	45 9.8	201 43.6	68 14.8	209 45.3	162 35.1	187 40.6	149 32.3	80 17.4	51 11.1	46 10.0	197 42.7	64 13.9	126 27.3	95 20.6	185 40.1	67 14.5	12 2.6
久喜地区	262 100.0	33 12.6	112 42.7	34 13.0	115 43.9	86 32.8	104 39.7	75 28.6	43 16.4	29 11.1	29 11.1	118 45.0	31 11.8	69 26.3	53 20.2	120 45.8	38 14.5	7 2.7
菖蒲地区	85 100.0	6 7.1	38 44.7	15 17.6	36 42.4	35 41.2	37 43.5	36 42.4	19 22.4	10 11.8	6 7.1	29 34.1	15 17.6	23 27.1	21 24.7	30 35.3	7 8.2	2 2.4
栗橋地区	54 100.0	3 5.6	27 50.0	10 18.5	29 53.7	19 35.2	23 42.6	17 31.5	9 16.7	7 13.0	3 5.6	22 40.7	5 9.3	16 29.6	8 14.8	15 27.8	13 24.1	3 5.6
鷺宮地区	49 100.0	3 6.1	21 42.9	6 12.2	23 46.9	18 36.7	19 38.8	15 30.6	7 14.3	4 8.2	7 14.3	23 46.9	10 20.4	14 28.6	8 16.3	17 34.7	5 10.2	-
わからない	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-
無回答	10 100.0	-	2 20.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0	3 30.0	5 50.0	2 20.0	-	-	4 40.0	2 20.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	4 40.0	-

4. ごみの出し方や分別の取組状況について

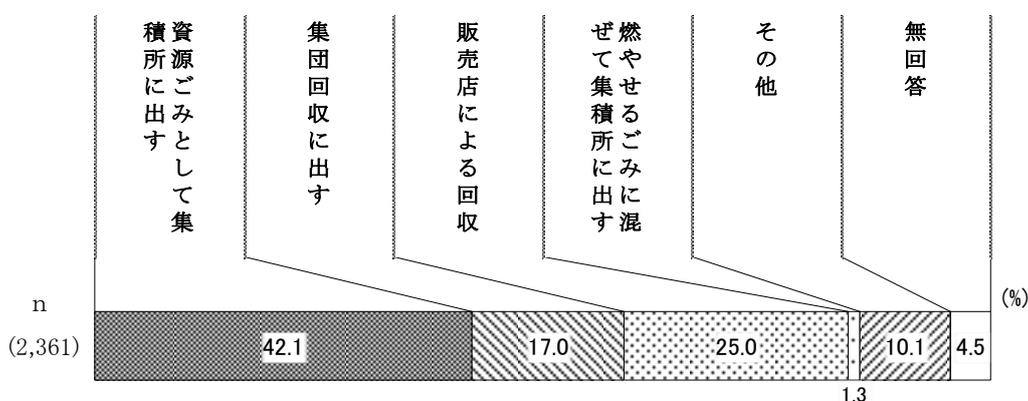
(1) 資源ごみの出し方

問4 資源ごみをどこに出していますか。(それぞれ1つに○)
 ※複数の項目に該当する場合、出す量の多い番号に○を付けてください。

①新聞紙

「資源ごみとして集積所に出す」42.1%が最も高く、次いで「販売店による回収」25.0%、「集団回収に出す」17.0%、「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」1.3%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『購読していない』『ちり紙交換』『グリーンパンダでリサイクル』『ポイント交換』『事業（障害者施設）に支援』などとなっている。



年齢別で見ると、「資源ごみとして集積所に出す」は40～49歳で46.2%と最も高く、次いで50～59歳で45.8%、20～29歳で45.5%となっている。「販売店による回収」は60～69歳で32.9%、70～79歳で32.5%と高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	販売店による回収	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361	994	401	591	31	238	106
	100.0	42.1	17.0	25.0	1.3	10.1	4.5
19歳以下	23	12	6	-	2	2	1
	100.0	52.2	26.1	-	8.7	8.7	4.3
20～29歳	143	65	24	25	4	18	7
	100.0	45.5	16.8	17.5	2.8	12.6	4.9
30～39歳	239	97	34	30	9	57	12
	100.0	40.6	14.2	12.6	3.8	23.8	5.0
40～49歳	342	158	60	46	6	53	19
	100.0	46.2	17.5	13.5	1.8	15.5	5.6
50～59歳	406	186	64	101	6	33	16
	100.0	45.8	15.8	24.9	1.5	8.1	3.9
60～69歳	636	258	111	209	2	41	15
	100.0	40.6	17.5	32.9	0.3	6.4	2.4
70～79歳	533	201	98	173	2	31	28
	100.0	37.7	18.4	32.5	0.4	5.8	5.3
80歳以上	12	5	3	4	-	-	-
	100.0	41.7	25.0	33.3	-	-	-
無回答	27	12	1	3	-	3	8
	100.0	44.4	3.7	11.1	-	11.1	29.6

地区別でみると、「資源ごみとして集積所に出す」は久喜地区で47.4%と最も高くなっている。「販売店による回収」は菖蒲地区で29.3%と最も高く、次いで久喜地区で28.1%となっている。「集団回収に出す」は栗橋地区で29.5%と最も高くなっている。

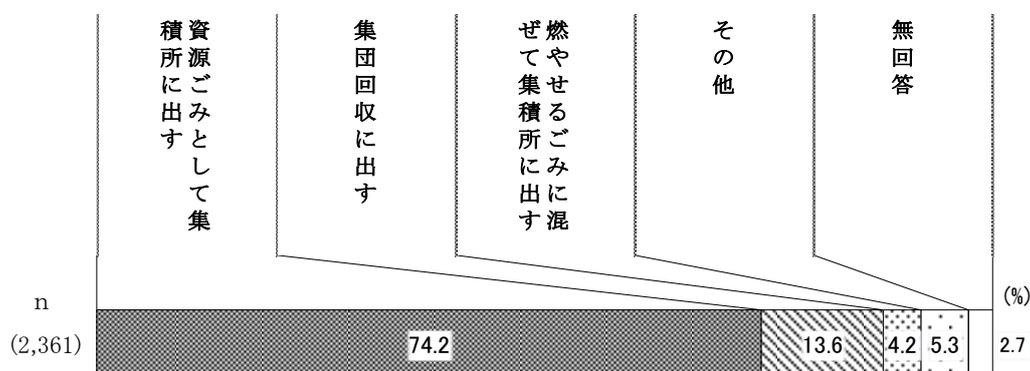
(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	販売店による回収	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	994 42.1	401 17.0	591 25.0	31 1.3	238 10.1	106 4.5
久喜地区	1,212 100.0	574 47.4	131 10.8	340 28.1	12 1.0	115 9.5	40 3.3
菖蒲地区	576 100.0	205 35.6	121 21.0	169 29.3	12 2.1	41 7.1	28 4.9
栗橋地区	285 100.0	111 38.9	84 29.5	33 11.6	2 0.7	41 14.4	14 4.9
鷺宮地区	258 100.0	90 34.9	62 24.0	45 17.4	5 1.9	40 15.5	16 6.2
わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
無回答	29 100.0	13 44.8	3 10.3	4 13.8	-	1 3.4	8 27.6

②雑誌・ざつがみ

「資源ごみとして集積所に出す」74.2%が最も高く、次いで「集団回収に出す」13.6%、「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」4.2%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『ちり紙交換』『小学校の資金の応援』『グリーンパンダ』『ポイントに換える』『新聞店回収』などとなっている。



第2章 調査結果の詳細

年齢別でみると、「資源ごみとして集積所に出す」は80歳未満のいずれの年齢でも70%を超えて高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,752 74.2	322 13.6	99 4.2	125 5.3	63 2.7
19歳以下	23 100.0	17 73.9	3 13.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3
20～29歳	143 100.0	102 71.3	22 15.4	12 8.4	5 3.5	2 1.4
30～39歳	239 100.0	171 71.5	29 12.1	11 4.6	26 10.9	2 0.8
40～49歳	342 100.0	254 74.3	45 13.2	18 5.3	19 5.6	6 1.8
50～59歳	406 100.0	312 76.8	51 12.6	17 4.2	20 4.9	6 1.5
60～69歳	636 100.0	485 76.3	90 14.2	21 3.3	28 4.4	12 1.9
70～79歳	533 100.0	389 73.0	77 14.4	18 3.4	24 4.5	25 4.7
80歳以上	12 100.0	6 50.0	4 33.3	1 8.3	-	1 8.3
無回答	27 100.0	16 59.3	1 3.7	-	2 7.4	8 29.6

地区別でみると、「資源ごみとして集積所に出す」はいずれの地区でも60%を超えており、久喜地区で84.3%と最も高くなっている。「集団回収に出す」は鷺宮地区で22.5%、栗橋地区で21.4%と高く、菖蒲地区で19.4%となっている。

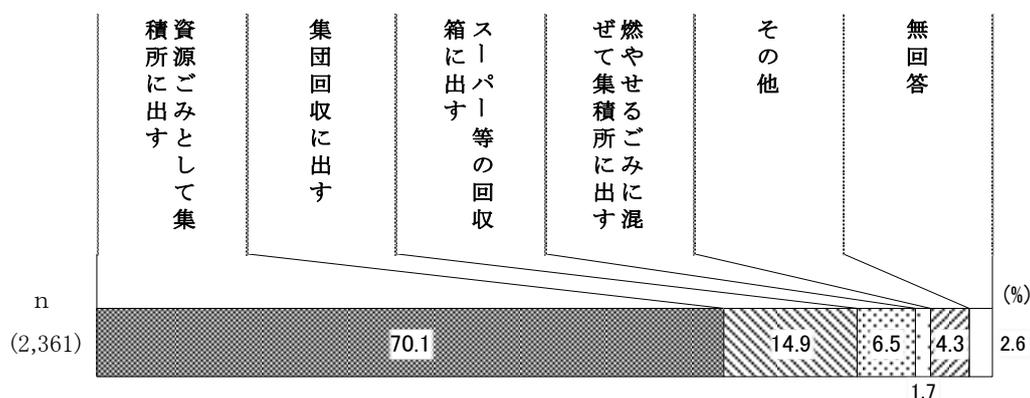
(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,752 74.2	322 13.6	99 4.2	125 5.3	63 2.7
久喜地区	1,212 100.0	1,022 84.3	89 7.3	34 2.8	46 3.8	21 1.7
菖蒲地区	576 100.0	373 64.8	112 19.4	42 7.3	27 4.7	22 3.8
栗橋地区	285 100.0	182 63.9	61 21.4	12 4.2	24 8.4	6 2.1
鷺宮地区	258 100.0	156 60.5	58 22.5	11 4.3	27 10.5	6 2.3
わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
無回答	29 100.0	18 62.1	2 6.9	-	1 3.4	8 27.6

③段ボール

「資源ごみとして集積所に出す」70.1%が最も高く、次いで「集団回収に出す」14.9%、「スーパー等の回収箱に出す」6.5%、「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」1.7%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『自宅焼却』『グリーンパンダに持って行く』『ポイントがつく所』『会社に持っていく』『事業（障害者施設）に支援』などとなっている。



年齢別で見ると、「資源ごみとして集積所に出す」は20～29歳から70～79歳のいずれの年齢でも60%を超えており、50～59歳で75.6%と最も高くなっている。「スーパー等の回収箱に出す」は30～39歳で15.9%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	スーパー等の回収箱に出す	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361	1,654	351	153	39	102	62
	100.0	70.1	14.9	6.5	1.7	4.3	2.6
19歳以下	23	13	5	2	1	1	1
	100.0	56.5	21.7	8.7	4.3	4.3	4.3
20～29歳	143	94	23	14	5	4	3
	100.0	65.7	16.1	9.8	3.5	2.8	2.1
30～39歳	239	162	21	38	5	12	1
	100.0	67.8	8.8	15.9	2.1	5.0	0.4
40～49歳	342	231	58	27	4	15	7
	100.0	67.5	17.0	7.9	1.2	4.4	2.0
50～59歳	406	307	51	20	6	16	6
	100.0	75.6	12.6	4.9	1.5	3.9	1.5
60～69歳	636	448	100	38	7	30	13
	100.0	70.4	15.7	6.0	1.1	4.7	2.0
70～79歳	533	376	88	14	10	22	23
	100.0	70.5	16.5	2.6	1.9	4.1	4.3
80歳以上	12	7	4	-	1	-	-
	100.0	58.3	33.3	-	8.3	-	-
無回答	27	16	1	-	-	2	8
	100.0	59.3	3.7	-	-	7.4	29.6

第2章 調査結果の詳細

地区別でみると、「資源ごみとして集積所に出す」はいずれの地区でも50%を超えており、久喜地区で81.6%と最も高くなっている。「集団回収に出す」は鷺宮地区で26.0%と最も高く、「スーパー等の回収箱に出す」も鷺宮地区で12.8%と最も高くなっている。

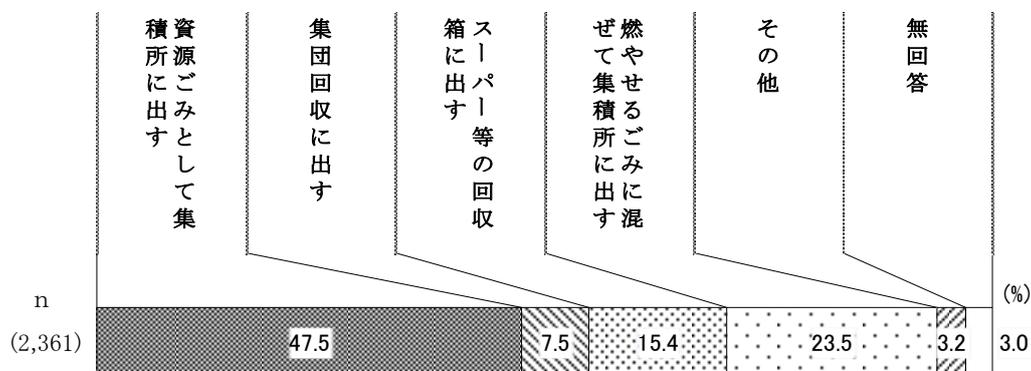
(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	スーパー等の回収箱に出す	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,654 70.1	351 14.9	153 6.5	39 1.7	102 4.3	62 2.6
久喜地区	1,212 100.0	989 81.6	90 7.4	70 5.8	9 0.7	33 2.7	21 1.7
菖蒲地区	576 100.0	353 61.3	125 21.7	28 4.9	17 3.0	31 5.4	22 3.8
栗橋地区	285 100.0	163 57.2	67 23.5	22 7.7	5 1.8	22 7.7	6 2.1
鷺宮地区	258 100.0	130 50.4	67 26.0	33 12.8	8 3.1	15 5.8	5 1.9
わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
無回答	29 100.0	18 62.1	2 6.9	-	-	1 3.4	8 27.6

④飲料用紙パック

「資源ごみとして集積所に出す」47.5%が最も高く、次いで「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」23.5%、「スーパー等の回収箱に出す」15.4%、「集団回収に出す」7.5%となっている。

「その他」の主な記述内容は『再利用』『雑紙扱いにしている』『収集日がよく分からない』『まな板として使用』『グリーンパンダに持って行く』などとなっている。



年齢別でみると、「資源ごみとして集積所に出す」は70～79歳で52.2%と最も高く、次いで50～59歳で50.5%となっている。「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」は30～39歳で28.0%と最も高くなっている。「スーパー等の回収箱に出す」は20～29歳で20.3%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	スーパー等の回収箱に出す	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,121 47.5	178 7.5	363 15.4	554 23.5	75 3.2	70 3.0
19歳以下	23 100.0	12 52.2	2 8.7	6 26.1	1 4.3	1 4.3	1 4.3
20～29歳	143 100.0	58 40.6	12 8.4	29 20.3	37 25.9	4 2.8	3 2.1
30～39歳	239 100.0	100 41.8	13 5.4	46 19.2	67 28.0	10 4.2	3 1.3
40～49歳	342 100.0	147 43.0	37 10.8	65 19.0	69 20.2	16 4.7	8 2.3
50～59歳	406 100.0	205 50.5	29 7.1	56 13.8	99 24.4	11 2.7	6 1.5
60～69歳	636 100.0	307 48.3	50 7.9	97 15.3	150 23.6	19 3.0	13 2.0
70～79歳	533 100.0	278 52.2	33 6.2	62 11.6	121 22.7	13 2.4	26 4.9
80歳以上	12 100.0	7 58.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3
無回答	27 100.0	7 25.9	-	1 3.7	9 33.3	1 3.7	9 33.3

地区別でみると、「資源ごみとして集積所に出す」は久喜地区で63.4%と最も高くなっている。「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」は菖蒲地区で39.9%と最も高くなっている。「スーパー等の回収箱に出す」は鷺宮地区で29.1%と最も高く、次いで栗橋地区で25.6%となっている。

(上段：件数、下段：%)

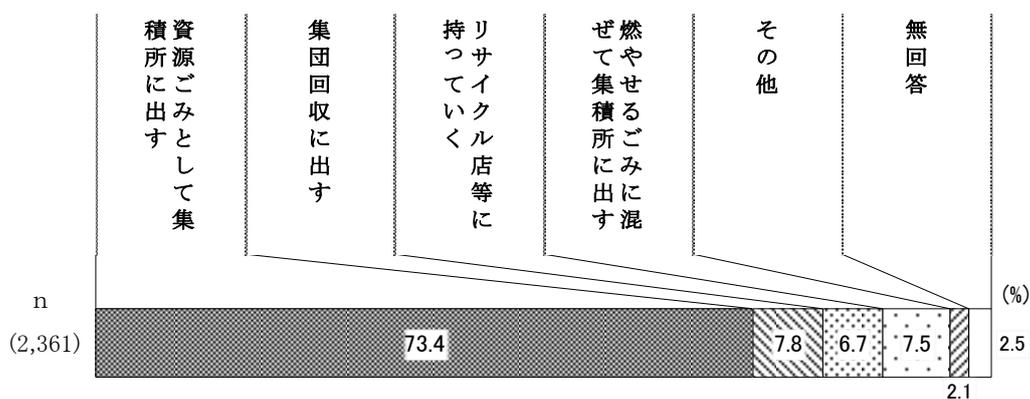
	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	スーパー等の回収箱に出す	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,121 47.5	178 7.5	363 15.4	554 23.5	75 3.2	70 3.0
久喜地区	1,212 100.0	768 63.4	69 5.7	123 10.1	197 16.3	35 2.9	20 1.7
菖蒲地区	576 100.0	165 28.6	44 7.6	91 15.8	230 39.9	23 4.0	23 4.0
栗橋地区	285 100.0	100 35.1	33 11.6	73 25.6	61 21.4	8 2.8	10 3.5
鷺宮地区	258 100.0	78 30.2	32 12.4	75 29.1	57 22.1	8 3.1	8 3.1
わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
無回答	29 100.0	9 31.0	-	1 3.4	9 31.0	1 3.4	9 31.0

第2章 調査結果の詳細

⑤布・衣類

「資源ごみとして集積所に出す」73.4%が最も高く、次いで「集団回収に出す」7.8%、「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」7.5%、「リサイクル店等に持っていく」6.7%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『小学校PTA』『新聞販売店の回収に出します』『グリーンパンダ』『寄付や海外に送る団体に送っています』『燃やす』などとなっている。



年齢別で見ると、「資源ごみとして集積所に出す」は20～29歳で最も低く、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70～79歳で78.4%、60～69歳で78.1%となっている。「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」は20～29歳で12.6%と最も高く、「リサイクル店等に持っていく」も20～29歳で19.6%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	リサイクル店等に持っていく	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,734 73.4	183 7.8	159 6.7	178 7.5	49 2.1	58 2.5
19歳以下	23 100.0	15 65.2	2 8.7	3 13.0	-	2 8.7	1 4.3
20～29歳	143 100.0	81 56.6	12 8.4	28 19.6	18 12.6	1 0.7	3 2.1
30～39歳	239 100.0	159 66.5	18 7.5	30 12.6	21 8.8	9 3.8	2 0.8
40～49歳	342 100.0	228 66.7	26 7.6	43 12.6	28 8.2	12 3.5	5 1.5
50～59歳	406 100.0	311 76.6	24 5.9	24 5.9	32 7.9	8 2.0	7 1.7
60～69歳	636 100.0	497 78.1	60 9.4	20 3.1	39 6.1	10 1.6	10 1.6
70～79歳	533 100.0	418 78.4	39 7.3	9 1.7	39 7.3	6 1.1	22 4.1
80歳以上	12 100.0	9 75.0	2 16.7	1 8.3	-	-	-
無回答	27 100.0	16 59.3	-	1 3.7	1 3.7	1 3.7	8 29.6

地区別でみると、「資源ごみとして集積所に出す」はいずれの地区でも50%を超えており、久喜地区で83.1%と最も高くなっている。「集団回収に出す」は鷺宮地区で22.1%と最も高くなっている。「燃やせるごみに混ぜて集積所に出す」も栗橋地区で13.7%と最も高く、「リサイクル店等に持っていく」も栗橋地区で14.0%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

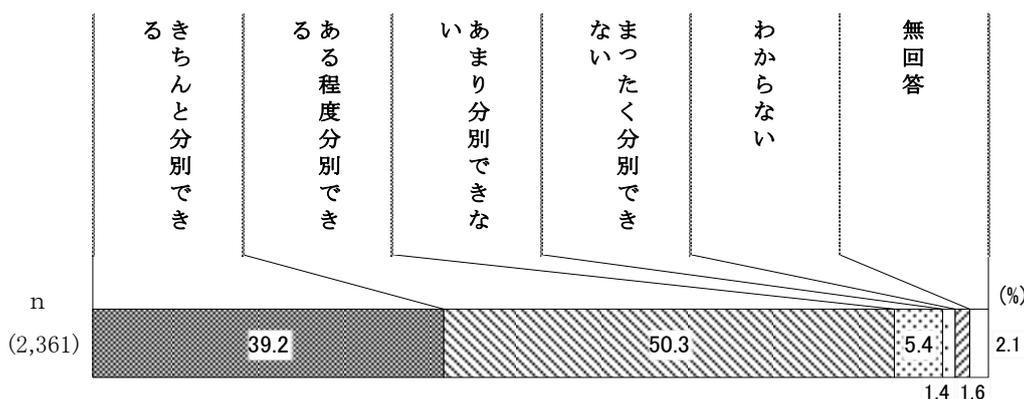
	調査数	資源ごみとして集積所に出す	集団回収に出す	リサイクル店等に持っていく	燃やせるごみに混ぜて集積所に出す	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,734 73.4	183 7.8	159 6.7	178 7.5	49 2.1	58 2.5
久喜地区	1,212 100.0	1,007 83.1	49 4.0	63 5.2	51 4.2	21 1.7	21 1.7
菖蒲地区	576 100.0	395 68.6	58 10.1	38 6.6	55 9.5	11 1.9	19 3.3
栗橋地区	285 100.0	175 61.4	18 6.3	40 14.0	39 13.7	9 3.2	4 1.4
鷺宮地区	258 100.0	139 53.9	57 22.1	18 7.0	31 12.0	7 2.7	6 2.3
わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
無回答	29 100.0	17 58.6	1 3.4	-	2 6.9	1 3.4	8 27.6

(2) びん・缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装の分別

問5 びん・缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装（表示のあるもの）は、それぞれ分別することで、より有用な資源として活用することができます。仮に、それぞれを分別することになった場合、分別をどの程度できると思いますか。

「ある程度分別できる」50.3%が最も高く、次いで「きちんと分別できる」39.2%、「あまり分別できない」5.4%、「わからない」1.6%、「まったく分別できない」1.4%となっている。

『分別できる（「きちんと分別できる」＋「ある程度分別できる」）』との回答は89.5%、『分別できない（「あまり分別できない」＋「まったく分別できない」）』との回答は6.8%である。



第2章 調査結果の詳細

年齢別でみると、『分別できる』はいずれの年齢でも80%を超えており、60～69歳で92.4%、70～79歳で91.9%となっている。一方で、『分別できない』は20～29歳で15.4%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	できちんと分別	できる程度分別	きあまり分別で	でまったく分別	わからない	無回答
全体	2,361 100.0	925 39.2	1,188 50.3	127 5.4	34 1.4	37 1.6	50 2.1
19歳以下	23 100.0	7 30.4	13 56.5	1 4.3	- -	2 8.7	- -
20～29歳	143 100.0	37 25.9	78 54.5	18 12.6	4 2.8	4 2.8	2 1.4
30～39歳	239 100.0	67 28.0	144 60.3	15 6.3	6 2.5	5 2.1	2 0.8
40～49歳	342 100.0	105 30.7	191 55.8	21 6.1	13 3.8	8 2.3	4 1.2
50～59歳	406 100.0	155 38.2	211 52.0	25 6.2	2 0.5	8 2.0	5 1.2
60～69歳	636 100.0	282 44.3	306 48.1	28 4.4	5 0.8	4 0.6	11 1.7
70～79歳	533 100.0	258 48.4	232 43.5	15 2.8	4 0.8	6 1.1	18 3.4
80歳以上	12 100.0	7 58.3	3 25.0	1 8.3	- -	- -	1 8.3
無回答	27 100.0	7 25.9	10 37.0	3 11.1	- -	- -	7 25.9

地区別でみると、『分別できる』はいずれの地区でも80%を超えており、栗橋地区で92.6%、鷺宮地区で91.0%となっている。

(上段：件数、下段：%)

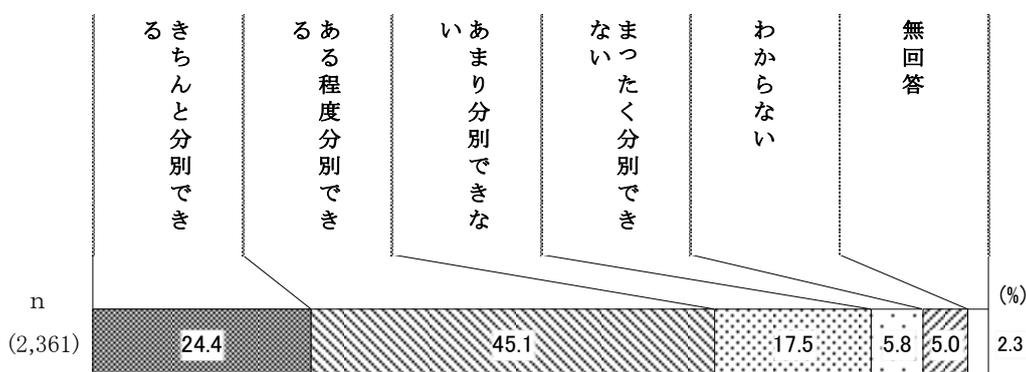
	調査数	できちんと分別	できる程度分別	きあまり分別で	でまったく分別	わからない	無回答
全体	2,361 100.0	925 39.2	1,188 50.3	127 5.4	34 1.4	37 1.6	50 2.1
久喜地区	1,212 100.0	478 39.4	605 49.9	68 5.6	19 1.6	26 2.1	16 1.3
菖蒲地区	576 100.0	213 37.0	296 51.4	32 5.6	12 2.1	8 1.4	15 2.6
栗橋地区	285 100.0	124 43.5	140 49.1	13 4.6	1 0.4	1 0.4	6 2.1
鷺宮地区	258 100.0	101 39.1	134 51.9	13 5.0	2 0.8	2 0.8	6 2.3
わからない	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
無回答	29 100.0	9 31.0	12 41.4	1 3.4	- -	- -	7 24.1

(3) 台所資源（生ごみ）と燃やせるごみの分別

問6 台所資源（生ごみ）は、燃やせるごみと分別することで、資源化等に活用することができます。仮に、生ごみを燃やせるごみと分別することになった場合、生ごみの分別をどの程度できるとお考えですか。

「ある程度分別できる」45.1%が最も高く、次いで「きちんと分別できる」24.4%、「あまり分別できない」17.5%、「まったく分別できない」5.8%、「わからない」5.0%となっている。

『分別できる（「きちんと分別できる」＋「ある程度分別できる」）』との回答は69.5%、『分別できない（「あまり分別できない」＋「まったく分別できない」）』との回答は23.3%である。



年齢別でみると、『分別できる』は20～29歳で最も低く、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70～79歳で78.8%、60～69歳で75.2%となっている。一方で、『分別できない』は20～29歳で36.4%となっており、30～39歳で34.8%となっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	でき きちんと 分別	ある 程度 分別	あ ま り 分 別 で き な い	ま つ た く 分 別 で き な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	2,361 100.0	575 24.4	1,064 45.1	414 17.5	136 5.8	117 5.0	55 2.3
19歳以下	23 100.0	7 30.4	10 43.5	3 13.0	1 4.3	2 8.7	-
20～29歳	143 100.0	25 17.5	55 38.5	31 21.7	21 14.7	9 6.3	2 1.4
30～39歳	239 100.0	41 17.2	96 40.2	58 24.3	25 10.5	17 7.1	2 0.8
40～49歳	342 100.0	51 14.9	159 46.5	78 22.8	26 7.6	23 6.7	5 1.5
50～59歳	406 100.0	93 22.9	183 45.1	84 20.7	23 5.7	18 4.4	5 1.2
60～69歳	636 100.0	176 27.7	302 47.5	95 14.9	24 3.8	28 4.4	11 1.7
70～79歳	533 100.0	174 32.6	246 46.2	58 10.9	14 2.6	18 3.4	23 4.3
80歳以上	12 100.0	5 41.7	3 25.0	3 25.0	1 8.3	-	-
無回答	27 100.0	3 11.1	10 37.0	4 14.8	1 3.7	2 7.4	7 25.9

第2章 調査結果の詳細

地区別でみると、『分別できる』はいずれの地区でも60%を超えており、久喜地区で73.4%、栗橋地区で69.8%となっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	できちんと分別	できる程度分別	きあまり分別で	できなく分別	わからない	無回答
全体	2,361 100.0	575 24.4	1,064 45.1	414 17.5	136 5.8	117 5.0	55 2.3
久喜地区	1,212 100.0	351 29.0	538 44.4	181 14.9	63 5.2	57 4.7	22 1.8
菖蒲地区	576 100.0	107 18.6	259 45.0	119 20.7	36 6.3	38 6.6	17 3.0
栗橋地区	285 100.0	67 23.5	132 46.3	54 18.9	20 7.0	8 2.8	4 1.4
鷺宮地区	258 100.0	46 17.8	123 47.7	55 21.3	17 6.6	12 4.7	5 1.9
わからない	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
無回答	29 100.0	4 13.8	12 41.4	4 13.8	-	2 6.9	7 24.1

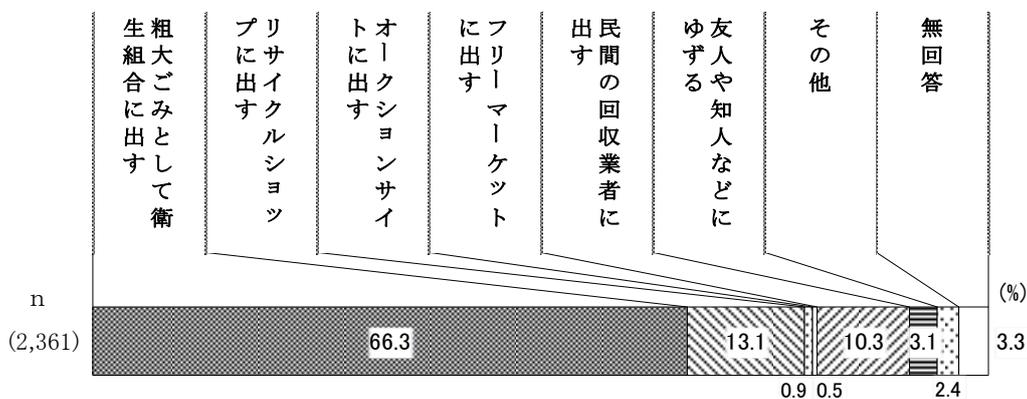
(4) 使いそうな不用品の出し方

問7 まだ使いそうな不用品をどこに出していますか。(それぞれ1つに○)
※複数の項目に該当する場合、出す量の多い番号に○を付けてください。

①粗大ごみ

「粗大ごみとして衛生組合に出す」66.3%が最も高く、次いで「リサイクルショップに出す」13.1%、「民間の回収業者に出す」10.3%、「友人や知人などにゆずる」3.1%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『販売店で回収』『分解してそれぞれ分別して出す』『ジモティーに出す』『まだ出したことがない』『使えなくなるまで使う』などとなっている。



年齢別でみると、「粗大ごみとして衛生組合に出す」はいずれの年齢でも50%を超えており、60～69歳で76.1%と最も高くなっている。「リサイクルショップに出す」は30～39歳で27.2%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	粗大ごみとして衛生組合に出す	リサイクルショップに出す	オークションサイトに出す	フリーマーケットに出す	民間の回収業者に出す	友人や知人などにゆずる	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,566 66.3	310 13.1	22 0.9	11 0.5	244 10.3	73 3.1	57 2.4	78 3.3
19歳以下	23 100.0	13 56.5	4 17.4	1 4.3	1 4.3	3 13.0	-	-	1 4.3
20～29歳	143 100.0	73 51.0	32 22.4	11 7.7	1 0.7	13 9.1	6 4.2	5 3.5	2 1.4
30～39歳	239 100.0	126 52.7	65 27.2	7 2.9	1 0.4	17 7.1	14 5.9	4 1.7	5 2.1
40～49歳	342 100.0	193 56.4	86 25.1	2 0.6	-	26 7.6	16 4.7	10 2.9	9 2.6
50～59歳	406 100.0	267 65.8	60 14.8	1 0.2	2 0.5	44 10.8	10 2.5	14 3.4	8 2.0
60～69歳	636 100.0	484 76.1	42 6.6	-	2 0.3	66 10.4	14 2.2	12 1.9	16 2.5
70～79歳	533 100.0	387 72.6	19 3.6	-	4 0.8	70 13.1	13 2.4	11 2.1	29 5.4
80歳以上	12 100.0	11 91.7	-	-	-	1 8.3	-	-	-
無回答	27 100.0	12 44.4	2 7.4	-	-	4 14.8	-	1 3.7	8 29.6

地区別でみると、「粗大ごみとして衛生組合に出す」はいずれの地区でも50%を超えており、久喜地区で71.0%と最も高くなっている。「リサイクルショップに出す」は鷺宮地区で15.5%、栗橋地区で14.4%と高くなっている。「民間の回収業者に出す」は菖蒲地区で17.4%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

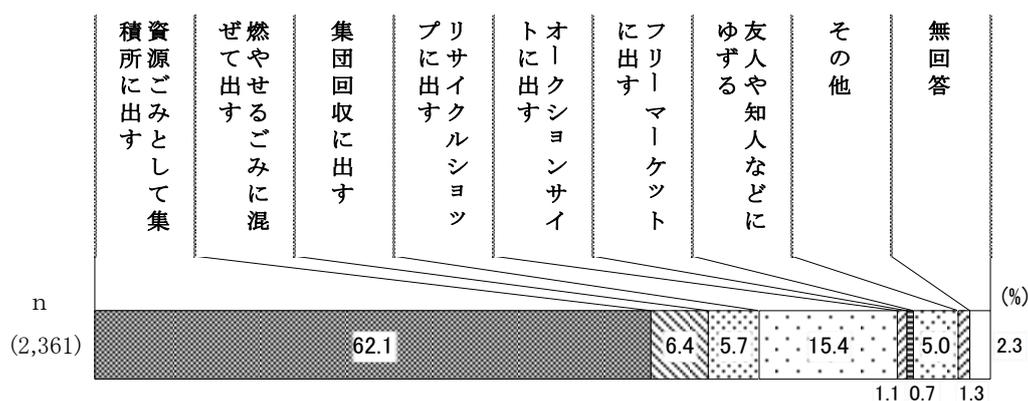
	調査数	粗大ごみとして衛生組合に出す	リサイクルショップに出す	オークションサイトに出す	フリーマーケットに出す	民間の回収業者に出す	友人や知人などにゆずる	その他	無回答
全体	2,361 100.0	1,566 66.3	310 13.1	22 0.9	11 0.5	244 10.3	73 3.1	57 2.4	78 3.3
久喜地区	1,212 100.0	860 71.0	163 13.4	9 0.7	6 0.5	84 6.9	33 2.7	29 2.4	28 2.3
菖蒲地区	576 100.0	334 58.0	65 11.3	6 1.0	2 0.3	100 17.4	28 4.9	14 2.4	27 4.7
栗橋地区	285 100.0	190 66.7	41 14.4	2 0.7	1 0.4	32 11.2	6 2.1	6 2.1	7 2.5
鷺宮地区	258 100.0	167 64.7	40 15.5	4 1.6	2 0.8	24 9.3	6 2.3	7 2.7	8 3.1
わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
無回答	29 100.0	14 48.3	1 3.4	1 3.4	-	4 13.8	-	1 3.4	8 27.6

第2章 調査結果の詳細

②洋服など

「資源ごみとして集積所に出す」62.1%が最も高く、次いで「リサイクルショップに出す」15.4%、「燃やせるごみに混ぜて出す」6.4%、「集団回収に出す」5.7%、「友人や知人などにゆずる」5.0%となっている。

また、「その他」の主な記述内容は『自分でリサイクルして使う』『使えなくなるまで使う』『ポイントがつく所』『地元の施設』『海外に送る団体』などとなっている。



年齢別で見ると、「資源ごみとして集積所に出す」は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70～79歳で75.8%と最も高くなっている。「リサイクルショップに出す」は20～29歳で27.3%、40～49歳で26.9%と高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	燃やせるごみに混ぜて出す	集団回収に出す	リサイクルショップに出す	オークションサイトに出す	フリーマーケットに出す	友人や知人などにゆずる	その他	無回答
全体	2,361	1,467	150	135	364	27	17	117	30	54
	100.0	62.1	6.4	5.7	15.4	1.1	0.7	5.0	1.3	2.3
19歳以下	23	9	1	2	6	1	1	2	-	1
	100.0	39.1	4.3	8.7	26.1	4.3	4.3	8.7	-	4.3
20～29歳	143	57	13	6	39	9	5	11	1	2
	100.0	39.9	9.1	4.2	27.3	6.3	3.5	7.7	0.7	1.4
30～39歳	239	107	15	17	60	8	3	23	4	2
	100.0	44.8	6.3	7.1	25.1	3.3	1.3	9.6	1.7	0.8
40～49歳	342	159	15	24	92	6	-	34	5	7
	100.0	46.5	4.4	7.0	26.9	1.8	-	9.9	1.5	2.0
50～59歳	406	249	28	18	74	3	3	21	3	7
	100.0	61.3	6.9	4.4	18.2	0.7	0.7	5.2	0.7	1.7
60～69歳	636	458	42	40	66	-	3	10	8	9
	100.0	72.0	6.6	6.3	10.4	-	0.5	1.6	1.3	1.4
70～79歳	533	404	36	26	24	-	2	14	8	19
	100.0	75.8	6.8	4.9	4.5	-	0.4	2.6	1.5	3.6
80歳以上	12	8	-	2	2	-	-	-	-	-
	100.0	66.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-
無回答	27	16	-	-	1	-	-	2	1	7
	100.0	59.3	-	-	3.7	-	-	7.4	3.7	25.9

地区別で見ると、「資源ごみとして集積所に出す」は鷺宮地区以外で50%を超えており、久喜地区で69.0%と最も高くなっている。「リサイクルショップに出す」は栗橋地区で24.2%と最も高くなっている。「集団回収に出す」は鷺宮地区で16.3%と最も高くなっている。

(上段：件数、下段：%)

	調査数	資源ごみとして集積所に出す	燃やせるごみに混ぜて出す	集団回収に出す	リサイクルショップに出す	オークションサイトに出す	フリーマーケットに出す	友人や知人などにゆずる	その他	無回答
全 体	2,361 100.0	1,467 62.1	150 6.4	135 5.7	364 15.4	27 1.1	17 0.7	117 5.0	30 1.3	54 2.3
久喜地区	1,212 100.0	836 69.0	43 3.5	37 3.1	187 15.4	10 0.8	6 0.5	65 5.4	12 1.0	16 1.3
菖蒲地区	576 100.0	342 59.4	52 9.0	45 7.8	70 12.2	6 1.0	5 0.9	27 4.7	9 1.6	20 3.5
栗橋地区	285 100.0	156 54.7	29 10.2	10 3.5	69 24.2	3 1.1	2 0.7	5 1.8	6 2.1	5 1.8
鷺宮地区	258 100.0	116 45.0	25 9.7	42 16.3	37 14.3	7 2.7	4 1.6	19 7.4	2 0.8	6 2.3
わからない	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
無回答	29 100.0	17 58.6	1 3.4	-	1 3.4	1 3.4	-	1 3.4	1 3.4	7 24.1

5. その他（自由意見）

（1）自由意見

問8 最後に、ごみの分別・収集やりサイクル等に関する市へのご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

ごみの分別・収集やりサイクル等に関する市への意見、要望などを自由に記述してもらったところ、929人から意見が寄せられた。その意見を分類し、それぞれの主な意見を掲載した。なお、複数の意見が記述されているため、各カテゴリーの合計は929を超えている。

◇ ごみの出し方や分別について…490件

■ 全体的なこと…193件

- 現在の分別集収方式で良いのではないのでしょうか。
- 分別内容が細かくなると、年齢によってはむずかしくなると思います。又、家庭内のごみ箱が増えると置き場に困る。
- ごみの分別が細かすぎる。ごみを出しやすくしてもらいたい。
- ごみの分別が細かすぎて理解できず、面倒になってしまい、いい加減なごみの出し方になってしまうのだと思う。
- ビニールごみを分別しても、自治でチェックの為に、出したごみ袋を広げて確認されるのがいやだ。
- ゴミ集収日の前日夜からゴミ出しして良いと公けに認められれば、だいぶ朝の負担が減る。不法投棄対策をしやすくなるのでは？
- 小さくすれば普段の回収に出せる物が、小さくする器具がないために出せないことがあって、不便を感じます。
- 最初の頃は面倒くささがありましたが、今は慣れたので、分別することには不満はありません。
- 自治体だけではできることにも限りがあるでしょうから、近隣の企業にも協力を依頼し、市全体で取り組むべきかと思います。一市民としては、ごみの分別・減量にはできる限り協力したいと思っています。環境のために様々な取り組みを行っていきましょう。
- 都内や他の市町村と比べても、久喜市は分別がきちんとできているので良いと思っています。

■ 燃やせるごみ…28件

- 枝木は、50cmの長さに切り揃えて縛って出すのが大変です。ある程度、長さについては制限をゆるくして欲しいです。
- 庭の植木、樹木、落ち葉の多量の回収には、集収車が直接個人宅に回収に回ってくると助かります。緑化を推進しているというが、個人的に植木、樹木を持ちきれなくなってしまうので、考えてもらいたい。
- 枝木を収集する場合、まとめるのではなくサイズの袋があると出しやすいかも知れない（丈夫な袋）。
- 草加市などでは食用油の廃油を回収し、婦人会などが手作り石けんを無料配布しているので、久喜市でも石けん作りをして欲しい。

- 衛生組合では、紙類とプラスチックの分別について、特に力を入れていますとあるのですが、燃やせるごみに、納豆パック、チューブ、長靴が入っているのが納得できません。分別するのであればきっちり分けて欲しいと思います。これらが燃やせるごみなのですから、他のプラスチックも分けずに燃えるごみにして欲しいです。

■ 台所資源（生ごみ）…43件

- 水分を含んだ生ごみを燃やせるごみとして出さなくて良いよう、処理機を安価でレンタルできるといいと思います。
- 生ごみと燃やせるごみの分別は大変難しいと思います。どうしても生ごみは夏場は水分が出てきますし、臭いも出ます。今はナイロン袋を2重、3重に重ねて燃やせるごみと一緒に出していますが、別々に出すとしたら…、仕分けるのも時間がかかり、困ると思います。
- 燃えるごみと生ごみの分別をした場合、ただでさえカラスの害で荒らされているのに、同じ様な出し方では大変な事になります。専用の容器などを配置した場合、その都度洗浄するなどしないと臭いの問題などもあります。住民の負担が増えてくるのでは？
- 台所資源（生ゴミ）、夏の暑い時期はお休みしたらどうでしょう？自宅はモデル地区になっていますが、1、自宅の台所も臭くなる。2、集積所も臭くなる。3、収集車も水（汁？）をたらしながら走ったりするので！！寒い時期は問題ないです。
- 生ごみと燃えるごみを分けるのであれば、生ごみの活用の仕方や生ごみを入れる網などのままで良いのかどうかなど（家はポリの網状のもので水切りしています）、堆肥として使うのかなど、指標を示していただきたい。久喜市のどこかでは、生ごみを堆肥として使うように推進している地区があると聞きました。そのやり方などを知りたいと思います。

■ 燃やせないごみ…8件

- 燃やせないごみの種類の幅を広げて、捨てやすいようにして欲しい。
- 燃やせるゴミと燃やせないゴミと一緒に処理できるようにして下さい。分別が細かいので、出せる物なのかわからなくなる時がある。
- 燃やせないごみの分別方法が多すぎる。これを一つの袋へ入れられると便利です。料金、高めで良いので考えて欲しい。また、処理方法は全て同じ方法でやるのではないのですか。であれば、分別することはないと思います。
- 資源の有効活用や環境を考えるなら、缶詰や粉ミルクの缶、ジャムや化粧品のびんなども資源回収にするべきではないのか。
- 長さ60～70cm位の棒状の不燃物は傘同様、縛って出しても良いのではないのでしょうか？

■ プラスチック類…75件

- プラについては、有用な資源として処理されていないと思っている人が結構いるようです。燃やされているのだからきれいにしなくても良いとか、燃やせるごみに混ぜて出している人も多いようです。
- プラと燃やせないゴミの区別が難しい。プラのリサイクルマークが見えにくいものもあり、わかりづらい。
- プラスチックゴミを出す時汚れを落として出していますが、水道水の無駄使いになってこれも資源ロスだと思う。何か良い方法はないですか。

第2章 調査結果の詳細

- プラスチックごみにシールが貼ってあるもの、びんにプラスチックのフタが付いているもの（ドレッシングのびんなど）、分別時にとることができないものの処理の仕方が、どこまでしたら良いのか分からない（汚れの程度など）。
- 他の市（さいたま市）は、プラスチックを燃えるごみとして出せる。プラごみを分別せずに燃えるごみとする方が時代の流れになっていると思うので、是非検討をお願いします。

■ びん・缶・ペットボトル…31件

- ペットボトルにプラのキャップが付いている物、醤油、麺つゆなど、本体はペットボトルとして、キャップはプラとして出す場合、キャップが取れなくて大変です。力がなくなり、キャップを外さなくてもペットボトルとして回収して頂きたいと思います。
- ごみの分別でびん・缶、ペットボトルなどのラベルやシールを外すのに、プラスチックは割に外しやすいが、紙はしっかりとのり付けしてあるものは外しにくい（水の使用量も多くなるし、手間もかかる）。製造工場などへ、外しやすいラベルの付け方を呼びかけることができると良いと思う。
- ペットボトルをつぶさないで出したい。
- びん、缶、ペットボトル等、それぞれを分別するとなるとビニール袋が沢山必要になるので、ビニール袋の大量消費になってしまうのではないのでしょうか？
- 市役所や各支所にびん・缶、ペットボトルなど資源ごみのポストがあるといいと思います。それを見ることで、分別方法の再確認ができたり、近所に出し忘れた時でも出すことができると思います。ただ、管理人などの人材が必要になり、経費もかかるかもしれませんが…。

■ 紙類・布・衣類…34件

- 雑誌・さつがみの封筒のビニール取りが大変です。
- 段ボールの区分がやや難しい物があります。非常に薄い段ボールの区別（雑がみ？との区分）に苦慮します。
- 収集する人もリサイクルの知識が必要だと思う。段ボールなのに、カラー段ボールの為に残されていた事があった。
- 布、衣類、洋服等の場合ひもでしばって下さいとの事ですが、折りたたんで透明袋に入れた方がいいと思います。その時の多い、少ないの場合はひもでしばります。いかがでしょうか？
- 下着は資源ごみではなく、燃やせるごみがいいです。

■ 有害ごみ…22件

- 有害ごみは、それぞれ個別の袋でなく、一緒に入れて出せる様にしてほしい。
- ライター・スプレー缶等、当たり前のことなのですが、中身をきれいにしてから出すのが大変。
- スプレー缶は穴を開けずに出す事はとても危険ではないのでしょうか。残量も見えず危険。ガス抜きもせず出すのはとても危険。やはり穴を開けて出した方が安心ではないのでしょうか？
- とても古いライターがあって、ガスが残っているのに火がつかない場合、残ったまま使い切ったライターと一緒に有害ごみで出しても良いのか、悪いのかよくわかりません。
- 電池が取れないで、ごみに出せなくて困っている。

■ 粗大ごみ…41件

- 粗大ごみの回収も、衛生組合になかなか持っていくのが大変なので、リサイクルショップのような回収する施設を増やすか、それがなかなか難しいのであれば、公民館や集会所、ふれあいセンターなどにでも持ち込めるような事ができれば、とても助かります。
- マンションなので粗大ごみを出す時はとても苦労します。4階なので、今後年をとり出せなくなった場合、民間にお願いするのはお金も高いですし、考えていただきたいと思います。
- 粗大ゴミの処分ですが、ある程度の大きさなら集積所でも回収して欲しいです（燃やせない市の指定袋45Lに入りきらない不燃物、又は粗大ゴミ）。月1回くらい集める日があれば大変助かります。
- 粗大ゴミの予約がとりにくい。1ヶ月先まで予約でいっぱいと言われたことがあるので、粗大ゴミをもっとスムーズに回収して欲しいです。
- 粗大ゴミの処理券を扱っている場所が小売店ばかりで購入しづらい。

■ 其他のごみ…15件

- ボタン電池を回収しているお店も少なく、出すのが大変な方もいると思います。乾電池同様、いつも利用している集積所に出せると良いと思います。
- 充電電池（ニッケル水素、リチウムイオン等）も回収して欲しい。
- 園芸用の土の収集などをして欲しい。
- 電気製品などの処理がわからず困っています。どうして良いかわからない物がたまっているのを見ると、こうやってゴミはたまるんだなと思います。
- 処理できないものとして扱われている物で、「専門業者に処理を依頼してください」とあるが、専門業者がわからない場合の対応をお願いしたい。例）久喜市内の業者の連絡先、料金など。

◇ ごみの収集日、収集回数について…167件

- プラスチックの収集を、週1から2回にしてほしい。かなりゴミが溜まってしまい、いつも保管場所に困っている。
- 新聞・雑がみが2週間に1回の回収となったが、当日雨だと回収に出せず、次回まで待つと大変なので、毎週回収に戻して欲しい。
- ざつがみ、段ボールの日を分けなくて欲しい。出す日までゴミが溜まり、収集場所が通く、持って行くのに困る。
- ざつがみ、燃やせないゴミや乾電池等、月に1回しか出せないのは困っています。出し忘れてしまうと翌月まで出せないのがゴミがたまってしまう。
- 資源リサイクルが月2回の回収になってから、少し負担を感じる。家庭ごみ・資源収集カレンダーを確認するのが面倒。
- 可燃ゴミ集収日を、週2回を週3回（月水金）or（火木土）にして頂ければ助かります。
- 燃やせないごみの日を増やして欲しい。月1だと出し忘れた時、また1ヶ月待たないといけないので、保管場所にも困る。年末年始はせめて最終日は曜日にかかわらず、燃やせるごみを収集して欲しい。1週間生ごみを置いておくのもイヤだし、45Lでもパンパンになってしまう。
- 年末から正月にかけての収集の長期休み後、特に資源プラスチックごみが置き場にあふれる位毎年出るので、悩みの種になっています。いつも決まった数人のボランティアでカラス除けの

第2章 調査結果の詳細

網などをかけているが、例外的に収集を増やして欲しい。

- ペットボトル、缶の回収が、2週間回収のないスケジュールになっている時がとても困る。回収カレンダーで第5週までである時、5週目にあたる週のペットボトルの回収が行われないので、スーパーなどに捨てに行っている。平等な日付で回収を行って欲しい。
- 分別するなら、いつでもゴミに出せる環境にしておくと、分別して出しやすいです。曜日が決っていると、その日まで持っているのが負担になり、だったら燃せるゴミにまぜてしまう…ということになりかねません。

◇ ごみの収集時間について…31件

- 収集時間がわかると良い。
- 燃やせるごみの収集では、収集車が午後に来るのでは遅いと思います。午前中の時間にしてほしいです。特に夏の季節は、においがすごかったり、カラスが来てごみネットをつついてビニールが破れてごみが散乱したりして、とても大変です。午前の早い時間の収集をお願い致します。
- 燃えるごみの日、回収時間がバラバラ。昼頃だったり、朝9時だったり。統一してください。
- カラス対策として、燃えるごみ、生ごみだけ、夜に回収することができたらいいと思います。
- 集積所で、8時30分になっていないのに8時20分頃ゴミ回収をされているのを以前見かけました。

◇ ごみの収集方法について…20件

- 自宅の近くに集積所がありますが、急いでいるのはわかりますが、集収車がスピードを出して走るので、危険なので速度を落して下さい。
- ゴミ収集車がゴミを回収した後、ごみ箱のふたがきちんとしまっていない事が多く、風が吹くとふたが開いたり閉じたりしていて危ない。忙しいのはわかるが、きちんと閉めて行って欲しい。
- 忙しいのは分かりますが、作業員の方ももっとごみにかけてある網を大事に扱って欲しいです。網の中に木などを入れる方がいて、網を思いきり上にあげて網を切った人がいたので、お願いしたいです。
- ごみを出した時にシールが貼られていて、持っていられない場合は、どの時に出すのか知らせて欲しい。どの日に出しても持って行ってもらえない時があるのです。
- 収集時をあまり見かけたことがなかったのですが、先日、たまたま見かけたところ、収集員の方が、カラスが散らかした袋と中身をホウキでキレイに片付けて下さってました。収集後のごみ捨て場は、ごみが残っているイメージでしたが、とても感謝の気持ちがありました。

◇ ごみ集積所について…122件

- ゴミの集積所に関して、集合住宅の場合は集積所が整っていますが、個別住宅の場合は、特に集積所が整備されておらず、道路の片端に置かれている場合が多く、集配車が来る迄は見た目も交通にも支障をきたす場合が多く見受けられます。各地域の自治会の運営の方法かもしれませんが、環境美化の点からも集積所の整備を希望します。
- 駅に近いと、通行人や駐車場利用者が集積所にごみを捨てて行きます。分別がいい加減にされてあり、収集車が注意シールを貼り残して行きます。地域住民が、袋を開け分別して再度出

し直ししています。100%地域に負担がかかり、大変迷惑しています。駅に近く駐車場ある所は、ある程度の物は収集車に回収していただきたいです。

- ごみ集積所の管理を市にお願いしたい。現状では、集積所の場所は近隣住民の話し合いにて決定するが、もめてなかなか集積場所が決まらない時があった。集積所の管理・清掃は、使用者が当番制で実施し、問題が生じた時は当番がセンターへ連絡、清掃道具は自腹で購入。税金を納めているのになぜ住民がやらなければならないのか？栗橋町の頃からお願いしている。
- 集積所カラス避けネットの目が粗いので、細目のネットにしてほしい。
- ごみ収集場のネットについて、かなりの頻度でカラスにいたずらされてしまい、掃除がすごく大変です。マンションやアパートなどに設置してあるような、ごみ集積庫のような物を設置していただけたら、とてもいいなと思います。
- ごみネットを2～3年に1回支給して欲しい。買いに行く人がいつも同じで大変。お金をもらうのも負担。収集場所がないため、各家の持ち回りも負担。
- 年齢的に集積所の清掃当番が、朝6時、特に冬期はきついです。
- ごみ集積所が遠く、ごみ捨てが大変です。集積所の数を増やして欲しいです。
- スーパーのようにいつでも出せる場所を作ってもらいたい。
- リサイクルの布や紙の日に、雨が降るのではとすごく心配な時があるので、雨に濡れない集積所があると嬉しい。

◇ ごみの指定袋について…72件

- 燃やせないごみの袋のサイズですが、60Lもあると良いと思います。
- 燃やせないごみの袋の強度が弱い。もっと強度を強くしていただくか、透明のビニール袋を使用しても良いようにして欲しい。
- 燃やせるゴミの袋が指定でなくてはいけないのを、半透明でもよくして欲しい。
- ごみ袋が高い。
- ごみ袋が違うために、持っていかないのがあるので、袋は同じ物にしたらいいのではないかと
思う。

◇ ごみの直接搬入について…17件

- 休日（土、日、祝日）に清掃センターへ家庭系ごみを搬入したいと思うときがあるが、月1回日曜日だけなので、タイミングが合わないときがあります。月2回であればいいなと思うことがあります。仕事をしていて出し忘れ（特に有害ごみ、燃やせないごみ等）があると困ってしまいます。
- 衛生組合は、月に1度の日曜日開設だけでは不便です。土又は日曜日、合わせて2～4回の開設にして欲しい。
- 夜勤などで時間通りにゴミを出せない場合、午後13:00～とかの直接持ち込みを受け付けるシステムを作って頂きたい。
- 集積所の対応が悪い感じする。持ち込み時など。
- 粗大ゴミの搬入をしやすいよう、トラックの借し出し等のサービスがあると嬉しいです。

◇ 粗大ごみの処理料金について…39件

- 粗大ごみについて、品物1点につき処理券1枚（500円）が必要なのは、少し高いのではな

第2章 調査結果の詳細

いでしょうか。タンス・ソファなど、大きい物はいいのですが、椅子など、ギリギリ袋に入らない物は納得できません。以前のように、kg数で出せるようにできないでしょうか。ご検討をお願い致します。

- 粗大ごみの料金に納得できないことが多い。自転車は仕方ないとしても、風呂のフタ、鉄棒（1mぐらい）でも500円とは、高すぎる気がする。大変でしょうが個々の対応も考えて欲しい。
- 各地域の粗大ごみ引き取り料金が違うのが納得できない。特に久喜市は高いみたいです。
- 粗大ごみが無料になって欲しい。
- 粗大ごみ、リサイクル券500円に対する中身が分かりにくいです。

◇ 戸別収集について…24件

- 高齢者宅などへの戸別収集をして頂けたらと思います（各家庭の自宅前にボックスを置き、分別ゴミを入れて出す）。
- ごみの収集場所について、各家庭の道路ぞいに出すと、不法投棄などなくなるのではないのでしょうか？高齢者の方などごみ出しは大変なことです。収集車も走らせながら入れていけばいいし楽だと思います。福岡県に住んでいた頃、そのような集め方だったので、ごみが残されても自分のものだとわかるしいいと思います。
- 自宅からごみ集積所までが遠く、500m近くあるので不便です。高齢者宅などへの戸別収集を子育て世帯へも拡充して欲しい。
- 都市部で、試験的に戸別収集にしたところ、大幅に収集量が減少したという報告があったそうです。年齢等に関わらず、全て戸別収集にすれば、負担も減り、ごみも減ることとなりますので、将来的にはそれを望みます。
- 他の自治体で戸別収集をしているとテレビで見ました。戸別収集をすることで、それぞれの分別の意識が変わるのではないかと思った。収集員さんの負担が増えてしまうかもしれないが、人員確保など（シルバー世代の方など）をしてやってもらいたい。

◇ 資源ごみの持ち去りについて…19件

- たまに資源ごみ（特に新聞紙、鉄など）を持っていってしまう人を見かけます。怖くて注意できません。
- 資源ごみで集積所に出されたものを、盗んでるのを何度か見かけた。集める日を狙ってその地域を廻っていた。見ていたらにらむ様な感じであった。
- 新聞について、本当は重量の事もあって収集場所に出したいのですが、ワゴン車で持ち去る業者をみかけてから販売店の回収に出す事にしています。持ち去る業者の取り締りをお願いします。
- 新聞・雑誌を集積所に出しておく、持ち去る人がいる。車のナンバーを警察に知らせても、現行犯でなければダメと聞きましたが、教えてください。
- 新聞等、回収が遅いと他県ナンバーのトラックが持ち出しなどがあります。数回、目撃した事がありますが…注意できず。

◇ 不用品のリサイクルについて…19件

- 洋服等はきれいなので捨てるのがもったいない位です。もし欲しい人がいれば、困っている人

にあげたらいいと思いますが…。これも大変でしょうね。

- 粗大ごみや洋服などで、まだ新しく使用できる物は、市が展示コーナーを設定して、市民に安く販売してはいかがでしょうか？
- 市主催の無料のフリーマーケットを開催してくれると嬉しいです。
- もう着れなくなった服など、アフリカなど外国へ送る会社（機関）など、案内があればごみとしてではなく、きれいな状態で直接送れるので、是非案内して欲しい（集積所に出すと、汚れてしまうので、ただのボロ布になってしまうため）。
- 不用品を無償で譲りたい人の情報を知らせる何らかの方法があれば良いと思う。

◇ ごみ分別の周知について…75件

- 家庭ごみ、資源物収集カレンダーが役に立っている。
- ごみの分別に迷うことあり。分別一覧表はとても役に立っている。ただ、一覧表に載っていないごみもあり、気軽に問い合わせができる窓口があると良い。
- ごみ分別一覧表をもう少し充実してもらえると、大変助かります（紙でもアプリでも）。毎回、問い合わせるのも気が引けるし、予想で分別するのも不安があるため。
- ごみの収集カレンダーを全戸に確実に配布して欲しい。
- 集積所のごみの出し方の案内について。日本語、中国語、英語、ハングル、インドネシア語、タイ語等、多言語での表記があれば、これからの国際社会に対応できるのではないのでしょうか？

◇ 市民への意識啓発について…45件

- 分別を推める事により資源として活用出来るとのことだが、効果が伝わっていない気がする。ある所では、分別して出しても一緒に燃やしていると聞いた事もあります。分別したことでどれくらいの成果が出たのか市民に伝えられると、協力する気持ちや意識が増すと思います。
- 若い世代や高齢世代の方でもごみの分別方法について正しく理解できるよう、啓発していただきたいと思います。特に一人暮らしではない若い世代の方は、家族がごみを出してくれているという方も多いかと思いますが、そういう方にも正しい分別、ごみの出し方を伝えていくべきかと思います。
- ごみの分別に対して、まだまだできていない人が多いと感じます。なるべく全ての人が、ごみに対する意識を持ってもらえるようになれば良いと思います。現在、マンションに住んでいますが、ごみの分別が全くできていない方がいるので、その辺りの指導が行き届けば良いと思います（戸建ての場合は、特定されるため、その辺りは大丈夫だと思ったため）。
- それぞれの家庭で責任をもち、ゴミの分別をしていく意識を持たないといけないと感じています。時々、分別されていないゴミは集積所に残されていますが、やむを得ないと思います。少し厳しくしないと、何でも出していいという意識の低い人もいらっしゃるのでは、一人一人の自覚だと思います。きれいな環境を保つためにも協力していくことが必要だと思います。これからも回収の程、よろしくお願い致します。
- 集合住宅の集積場は汚れていたり、収集日とは別のゴミが出されていたり、集積場の管理当番制にはなっていないのでしょうか？その様な状況を見ると、分別状況もきちんとされていないのでは？と想像してしまいます。皆が積極的にリサイクルに取り組む事が大変重要だと感じております。行政もそういう状況を細かく確認し指導頂けると、よりよい環境になるのではない

でしょうか。よろしくお願ひいたします。

◇ ごみの処理施設について…34件

- 自治体によっては、焼却施設が良いので、生ごみやビニール袋を一緒に出している所があり、分別の苦勞がないのでうらやましく思っている。また、熱を利用して温泉にしている所もある。有料にして費用を減らすのも良いのではないか。
- ごみの分別を少なくするために、東京都のように、ほぼほぼ燃やせるごみで処理ができるごみ処理場を作るべきだと思う。少し費用がかかるとしても、ごみはずっと出るし、あまり少なくなならない。他の市や町の処理に願ひするより、自分の市で処理ができて、他の所で処理しきれない物をお金で処理代をもらって処理できる方が、財政的にも後々良いのでは？と思う。
- 毎日毎日、ごみの分別とごみ出しに追われ、朝も時間までに起きなければいけない等、大変負担に感じています。近隣の市町村は分別も簡易で、負担は感じていないと聞いています。久喜市もごみ処理場の最新化等により、高齢者にも分かりやすく、負担にならないごみの出し方になる事を願ひます。
- 資源のリサイクルは大切なことですが、これから高齢化が進むなか、分別作業は高齢者には大変な負担になります。新しいゴミ処理施設を検討するなら、ダイオキシンを出さない処理で、一括処理ができる様にした方が良いと思います。
- 他地域に比べて、分別ルールが厳しいと感じます。焼却炉の老朽化が原因と聞いたことがあり、焼却炉の新設を早急に希望します。

◇ その他…103件

- いつも朝早くより回収に来ていただいて、ありがとうございます。
- ごみを有料化にはしないで欲しい。
- リサイクルがどのようにされているか、分別した先の資源がどのように活用されているかを、もっと説明して欲しい。
- 多大な市民の勞力と税金を使って、リサイクルは本当に費用対効果があるのか疑問。やるならせめてリサイクルではなく、リユースに税金を使って欲しい。ペットボトルなどリサイクルした製品にたいした割合を使ってもいないのに、アピールしてるはおかしい。リユースするならわかるが、ペットボトルだけプラゴミと別にする理由は不可思議。
- このアンケートを答えているうちに、とても考えさせられました。ゴミ問題はとても重要です。ひとりひとりがしっかりと意識することが大切であり、ゴミになるものを買わない、増やさない、捨てない（大切に使う）、よく考えて買うことをしないといけないと思いました。
- そもそもこのようなアンケートもオンラインでやれば良いと思う。特に役所は、手紙やハガキなど、紙ベースのものが多すぎる。
- 先日の大雪の時、出入口あたりは各家庭雪かきはされていたようですが、家の回りの道路もやるように周知して頂けると、ゴミ出しも不安なく出せると思います。
- 剪定枝たい肥（無料）配布を、今後も引き続き実施して頂きたい。
- プラスチックごみや食品トレーなど、またダンボール、新聞紙など、企業が回収しリサイクルをしてもらうのが良いと思う。企業はまたは販売店は、売るばかりでゴミのことは何も考えていない。まとめて回収し、企業側あるいは販売店単位でリサイクルに取り組んで欲しい。
- 過剰包装は、以前から気になっています。自治体が企業によびかけると同時に、市民にも啓蒙

する事がこまめに必要ではないでしょうか。

- 庭が少しあるので落ち葉などを燃やしたい。
- 食品ロスに対する取り組みを行うことで、市民の意識が高まると考えます。きちんと分別し、集積場所に持って行くとポイントになるなど、スーパーなどがやっていることを参考にしたいかがでしょうか。できる限り、ご協力したいと考えています。

第 3 章 参考資料 (調査票)

ごみの出し方や分別に関する市民意識調査

市民の皆様には、日頃より市政への格別のご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、久喜市では、平成35年度の稼働を目標に、新たなごみ処理施設の建設を進めています。

現在、久喜宮代衛生組合が実施している取り組みを引き継ぐことを考えておりますが、新たなごみ処理施設の建設にあたり、今後の基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年2月

久喜市 環境経済部 ごみ処理施設建設推進課

ご記入にあたってのお願い

1. 無記名の調査ですので、お名前やご住所を記入いただく必要はありません。また、回答はすべて統計的に処理し個々の調査票が公表されることはありません。
2. 封筒の宛名ご本人が記入してください。ただし、ご本人が記入いただけない場合やご家庭の中で普段ごみを取り扱っている方が別にいる場合は、その方が記入していただいても結構です。
3. 答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
4. 答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、()内になるべく具体的にその内容を記入してください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ご注意ください。
6. **ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、2月23日（金）までにご返送ください。**

※この調査は、久喜市にお住いの18歳以上の方を対象に、4,000人を無作為に抽出してお願いしています。なお、抽出データは平成29年12月1日現在のもので、この日以降、市外へ引っ越しされた方や亡くなられた方に送付された場合はご容赦ください。

【お問合せ先】

調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

久喜市 環境経済部 ごみ処理施設建設推進課

〒346-8501 久喜市下早見 85 番地の 3（内線 2833）

TEL：0480-22-1111（代表） FAX：0480-22-3319

ごみの出し方や
分別に関する市民意識調査
報告書

平成30年3月

発行 / 久喜市 環境経済部 ごみ処理施設建設推進課
〒346-8501 久喜市下早見85番地の3
電話 0480-22-1111 (代表)